

第42回

東北理学療法学会大会

in
青森

2025年を見据えた理学療法 ～キャリア形成と地域保健～

大会プログラム集



2024.9.7 (sat) → 8 (sun) 大会長 岩月 宏泰 (公立大学法人
青森県立保健大学)

会場 公立大学法人 青森県立保健大学 (青森県青森市大字浜館字間瀬58-1)

主催 / 日本理学療法士協会 東北ブロック協議会 担当 / 一般社団法人青森県理学療法士会

令和6年7月吉日

施設長
病院長 殿
所属機関長

日本理学療法士協会 東北ブロック協議会
会長 菅原 慶勇

第42回東北理学療法学会
大会長 岩月 宏泰



第42回東北理学療法学会出張許可のお願い(ご依頼)

謹啓

時下貴台におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より日本理学療法士協会東北ブロック協議会ならびに一般社団法人青森県理学療法士会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度下記により第42回東北理学療法学会を開催する運びとなりました。

つきましては、貴職員で 理学療法士 氏 の学会出張につきまして、格段のご配慮を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

謹白

記

1. 大会名 第42回東北理学療法学会
2. テーマ 「2025年を見据えた理学療法」～キャリア形成と地域保健～
3. 会場 公立大学法人 青森県立保健大学 (ハイブリット開催)
青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1
4. 会期 令和6年9月7日(土) 9:00 ~ 18:40
8日(日) 9:00 ~ 12:20
5. 主催 日本理学療法士協会 東北ブロック協議会
6. 担当 一般社団法人 青森県理学療法士会

以上

お問い合わせ先

第42回東北理学療法学会 事務局

事務局長 山田 文武(やまだ ふみたけ)

E-mail : tohoku.42conference.zimu@gmail.com



目次

タイトル	ページ番号
ご挨拶	2
日程表	3
会場アクセス	5
会場案内	6
託児所のご案内	11
参加者へのお知らせ	13
参加登録のご案内	15
新生涯学習制度におけるポイントについて	17
大会企画目次	21
投稿規定	51
学術機関誌投稿要領	52
後援御芳名	57
協賛企業一覧	58
第43回東北理学療法学会のご案内	59
審査員一覧	60
学術大会運営組織	61

大会長挨拶



第42回東北理学療法学術大会

いわつき ひろやす
大会長 岩月 宏泰

(公立大学法人青森県立保健大学)

このたび、2024年9月7日（土）・8日（日）に第42回東北理学療法学術大会を青森県立保健大学で開催することになりました。本学術大会は東北6県の理学療法士が集い、理学療法の臨床で経験する疑問や課題に対して英知結集の場としての役割を果たしてきました。第42回学術大会では、テーマを「2025年を見据えた理学療法～キャリア形成と地域保健～」としました。

本邦では少子高齢化が年々加速する中で2025（令和7）年までに「団塊の世代」が全て後期高齢者となり、超高齢社会を迎えることとなります。この社会的影響の一つが、医療費や介護費の増大、それに伴う現役世代の負担増大です。国は高齢者が要介護状態となっても、それぞれの地域の実情に合った医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を推奨しています。このシステムを構築する5要素の一つにリハビリテーションも含まれています。なかでも病院での救命後に提供される回復期リハビリテーションは患者の生活機能を高める機能的な役割を担っており、それぞれの地域の実情に合わせた生活支援との橋渡しが求められています。高齢者が病院での救命や疾病の治療を終えた後に地域で本人が尊厳をもって自分らしく暮らしていく上で、今まで以上に一次予防、二次予防を推進する必要があります。これまで、リハビリテーションの目的は対象者の生活機能の向上と社会参加の促進として展開されてきましたが、今後の理学療法士は地域包括ケアを支える専門職として活躍することが求められ、早急にこの新しい課題に対処する準備が必要となります。

一方、厚生労働省の「医療従事者の需給に関する検討会 理学療法士・作業療法士受給分科会」によると、理学療法士と作業療法士の供給数は、2025年を転換点として需要と供給の逆転が生じる試算が示されています。日本理学療法士協会の20代、30代の理学療法士数は男女合わせると約10万人で全会員の半数を占めている現状から、直近に理学療法士の需要が減少し競争が激化する環境下で生き残るためのキャリアモデルの構築は喫緊の課題といえます。

本学術大会では、本邦の2025年に迎える人口構造の変化に向けた医療・介護の一体化に重要な役割を果たすことのできる理学療法士モデル及び理学療法士の需給バランスが大きく変化する中での成功するキャリア形成について熱く討議し、参加者にとって有意義な学術大会とするとともに広く国民の期待に応えることができる情報を発信する場にしたいと考えております。

2023年12月吉日

第42回東北理学療法学会大会 日程表

大会1日目

📺：オンデマンド配信対象

開始	終了	メイン会場 (大学講堂)	第1サテライト 会場 (A101)	第2サテライト 会場 (A111)	市民公開講座 (B110)	ポスター 演題会場 (B113/B109/B115 /B116/B117)	
9:00	10:00	会場・受付					
10:00	11:00	教育セミナー① 📺 リハビリテーション部門における 組織管理－キャリア教育と今後の展望－ 講師：神戸 晃男 司会：越後 あゆみ	教育セミナー② 📺 生きた自助具としての介助犬～理学 療法士・作業療法士としての関わり～ 講師：野口 裕美 司会：岩月 宏泰			ポスター掲示時間	
11:00	11:10	休憩・移動	休憩・移動	休憩・移動			
11:10	11:50	開会式	開会式 (サテライト)				
11:50	12:20	大会長基調講演 📺 「2025年を見据えた理学療法」 ～キャリア形成と地域保健～ 講師：岩月 宏泰 司会：高橋 仁美	大会長基調講演 (サテライト)				
12:20	12:30	次期大会長挨拶	次期大会長挨拶 (サテライト)				
12:30	13:30	昼休憩					
13:30	14:30	特別講演① 📺 行政説明「介護・高齢者福祉について」 ～介護保険や地域包括ケアの推進などの 施策・制度～ 講師：阿部 亜希子 司会：古木名 寿登	特別講演① (サテライト)				
14:30	14:40	休憩・移動	休憩・移動	休憩・移動			
14:40	15:50	シンポジウム① 📺 理学療法士のキャリア形成 ～選ばれる理学療法士になる為には？～ 講師：上菌 紗映 渡邊 賢治 座長：米田 良平 諸橋 勇	シンポジウム② 📺 地域における 予防理学療法の実践と展望について 講師：日向 遥香 平野 雄三 座長：長谷川 至 小野寺 遊				
15:50	16:00	休憩・移動	休憩・移動				
16:00	16:50	口述発表① 一般演題 基礎1 座長：牧野 美里	口述発表② 一般演題 神経1 座長：新潟 大和	口述発表③ 一般演題 生活1 座長：渡部 潤一		ポスター発表 座長：①吉田 高幸 ②福士 勇人 ③横山 寛子 ④佐藤 弘樹 ⑤佐藤 英雄	
16:50	17:00	休憩・移動	休憩・移動	休憩・移動			
17:00	17:50	口述発表④ 一般演題 神経2 座長：齋藤 圭介	口述発表⑤ 症例報告 運動器1・神経3 座長：柴田 信行	口述発表⑥ 一般演題 運動器2・生活2 座長：二瓶 健司			
17:50	18:40	特別講演② 📺 トリプル改定と理学療法の未来 講師：田中 昌史 司会：氣仙 裕					

第42回東北理学療法学会 日程表

大会2日目

📺：オンデマンド配信対象

開始	終了	メイン会場 (大学講堂)	第1サテライト 会場 (A101)	第2サテライト 会場 (A111)	市民公開講座 (B110)	ポスター 演題会場 (B113/B109/B115 /B116/B117)			
9:00	9:30	会場・受付							
9:30	10:30	教育セミナー③ 📺 運動器疾患の疼痛管理を目的としたさまざまな物理療法の適応 講師：前田 貴哉 司会：吉田 英樹	口述発表⑦ 一般演題 基礎2・運動器3 座長：関 公輔	口述発表⑧ 症例報告 内部1・生活3 座長：蔵品 利江		ポスター発表 座長：⑥柴田 和幸 ⑦高見 彰淑 ⑧岩澤 里美 ⑨照井 佳乃 ⑩森山 信彰			
10:30	10:40	休憩・移動	休憩・移動						
10:40	10:50			休憩・移動					
10:50	11:30	教育セミナー④ 📺 労働者を支える産業保健 理学療法の現状と未来 講師：佐藤 友則 司会：横田 純一	教育セミナー⑤ 📺 地域の義肢装具ユーザーを支えるために 講師：時吉 健輔 司会：漆畑 俊哉	東北ブロック協議会 学術局主催講座 📺 誰でも明日から始められる 臨床研究～研究の準備から 学会発表まで～ 講師：高橋 純平 司会：中村 学人	市民公開講座 歩くを科学する～かかとから 歩けばいいんだべ??～ 講師：羽場 俊広 司会：木村 文佳	ポスター撤去時間			
11:30	11:40								
11:40	11:50	休憩・移動	休憩・移動		休憩・移動				
11:50	12:20	授与式 閉会式	学内スタンプラリー * 構内の廊下にあるスタンプを全て集めると景品が貰えます (先着順)						
12:20	12:50								
12:50	13:00								

アクセス案内

車でお越しの場合



青森駅
⇒ 青森県立保健大学：約20分
新青森駅
⇒ 青森県立保健大学：約25分
青森自動車道－青森中央IC－
⇒ 青森県立保健大学：約15分

電車でお越しの場合



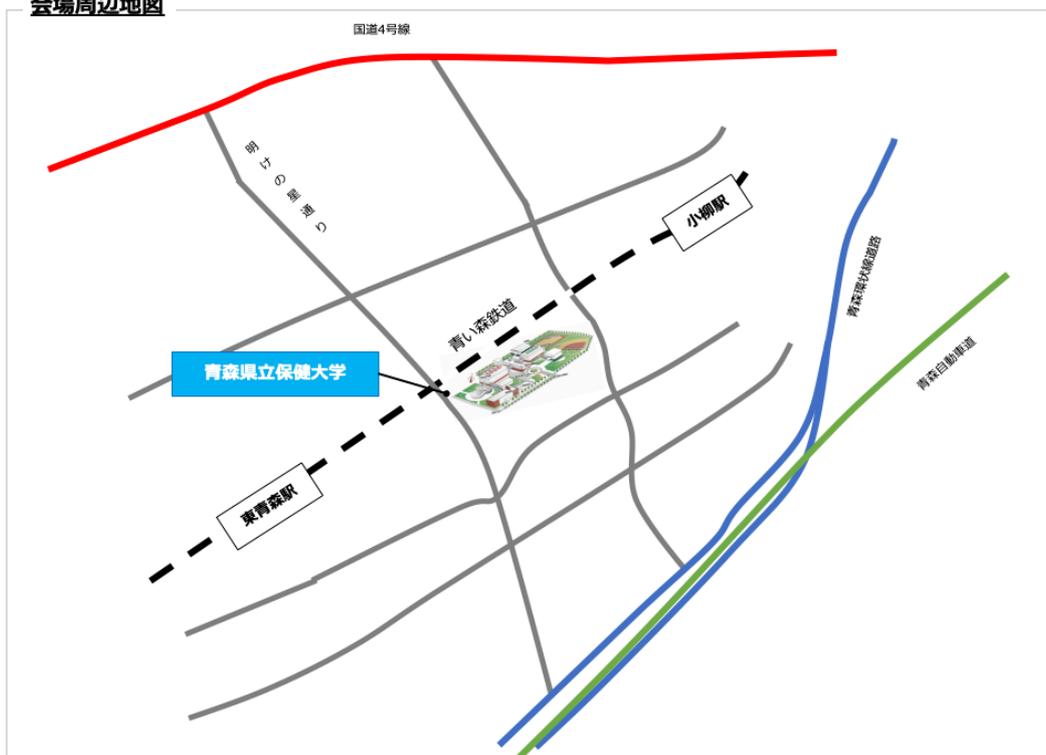
青森駅（青い森鉄道 八戸方面）
⇒ 東青森駅 または 小柳駅：約20分
（時刻表は[こちらをクリック](#)）
東青森駅 または 小柳駅
⇒ 青森県立保健大学：徒歩10分

バスでお越しの場合



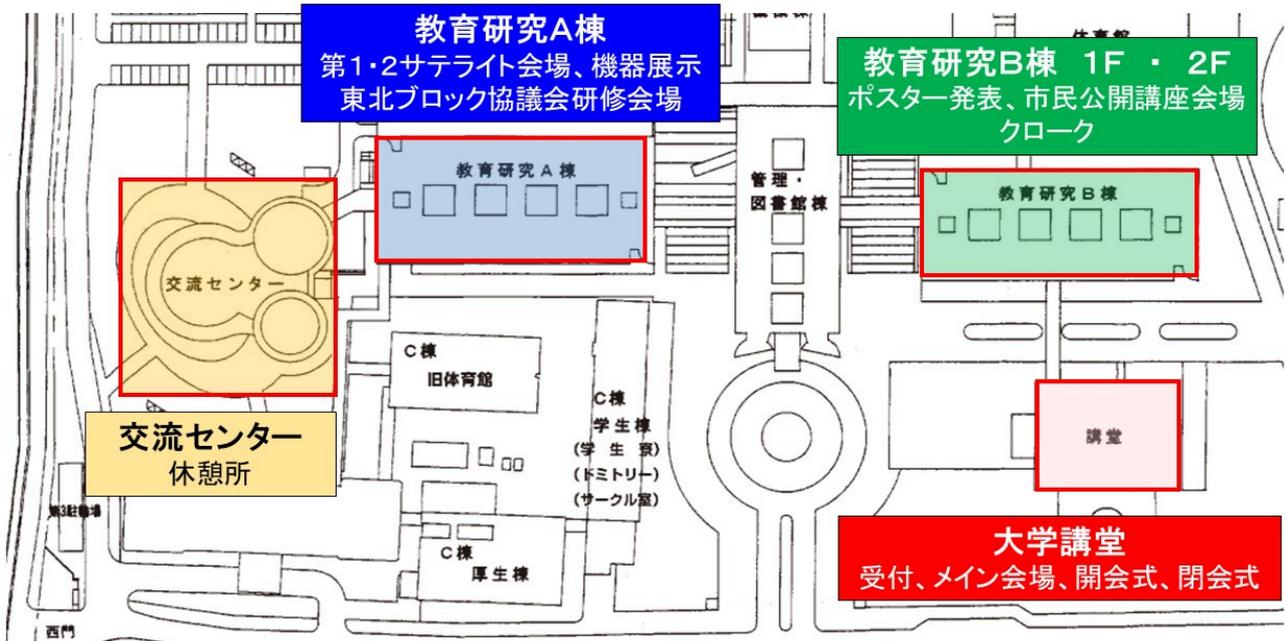
青森駅前（③中筒井・戸山団地方面へ乗車）
⇒ 県立保健大学前バス停：約20分
（時刻表は[こちらをクリック](#)）
県立保健大学前バス停
⇒ 青森県立保健大学：徒歩1分
＊無料シャトルバスも運行いたします。
[詳細はこちらをクリック](#)

会場周辺地図



会場案内図

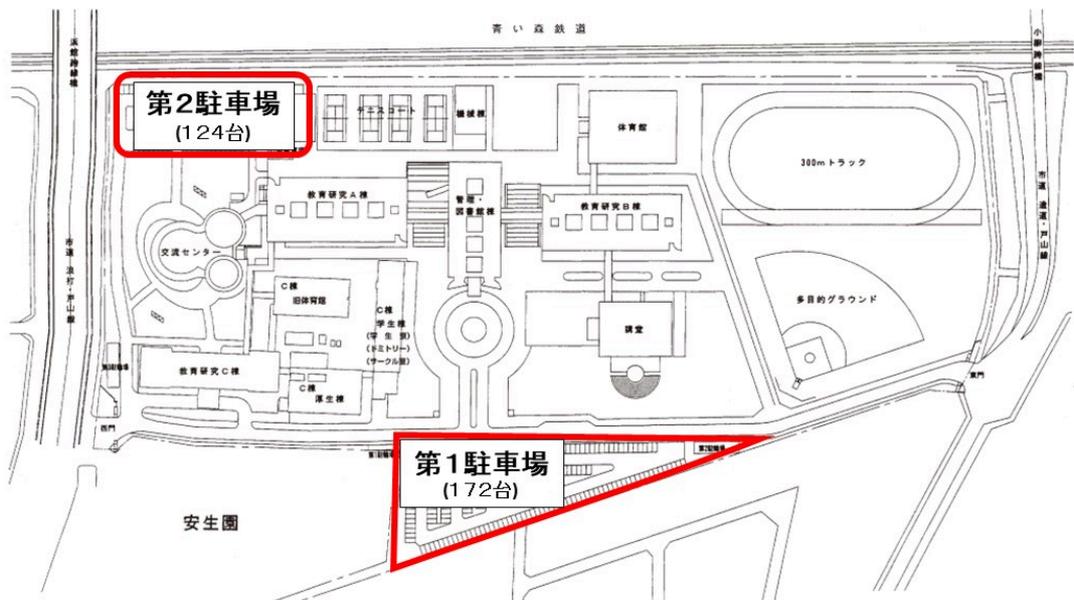
会場案内



《各会場の詳細案内はこちらをクリック》

- [○大学講堂](#)
- [○教育研究A棟](#)
- [○教育研究B棟1F](#)
- [○教育研究B棟2F](#)
- [○交流センター](#)

駐車場案内



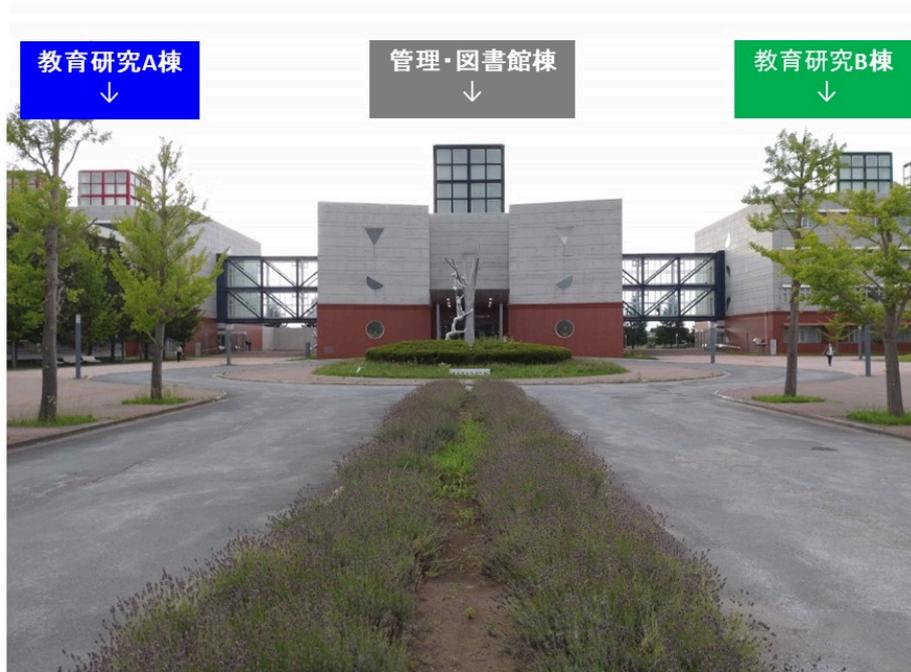
※駐車場の台数に限りがあり近隣には有料駐車場もないため、乗り合いや公共交通機関のご利用もご検討ください。

※なお、青森駅から会場まで臨時バスの運行を予定しております。詳細はHP上でお知らせいたしますので、こちらのご利用についてもご検討ください。

構内外観



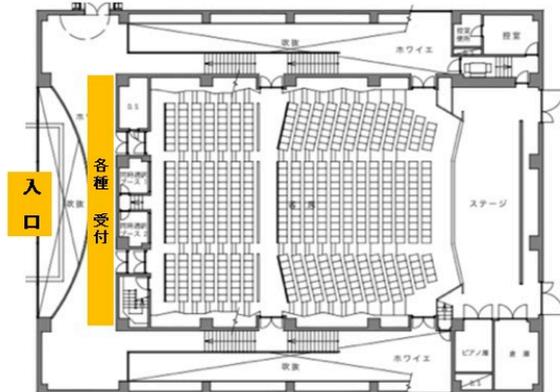
構内外観



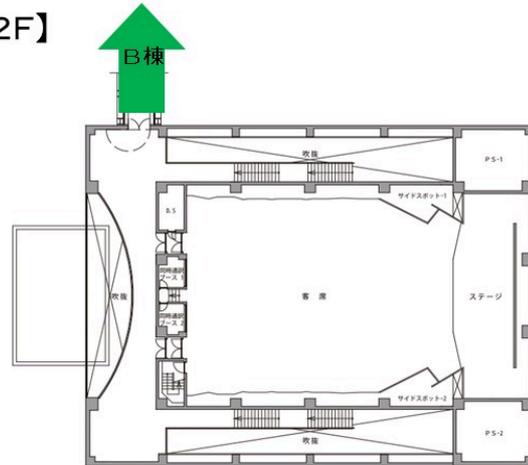
**大学講堂
受付、メイン会場**

【プログラム】			
9月7日			
・開会式	・大会基調講演	・次期大会長挨拶	・口述発表①④
・教育セミナー①	・特別講演①②	・シンポジウム①	
9月8日			
・教育セミナー③④	・授与式	・閉会式	

【1F】



【2F】



教育研究A棟 1F

第1・第2サテライト会場、機器展示会場、東北ブロック協議会研修会場

【プログラム】

9月7日

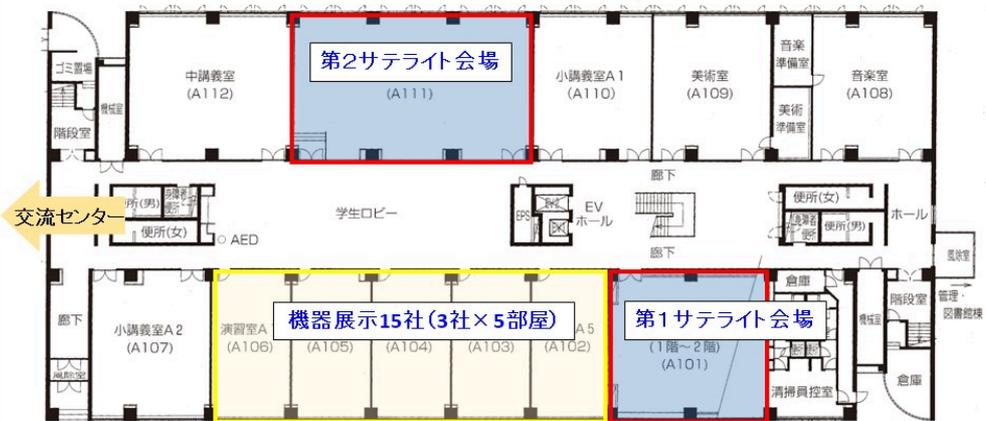
- ・教育セミナー②
- ・開会式(サテライト)
- ・大会基調講演(サテライト)
- ・次期大会長挨拶(サテライト)
- ・特別講演①(サテライト)
- ・シンポジウム②
- ・口述発表②③⑤⑥

9月8日

- ・口述発表⑦⑧
- ・教育セミナー⑤
- ・東北ブロック協議会研修

両日

- ・機器展示

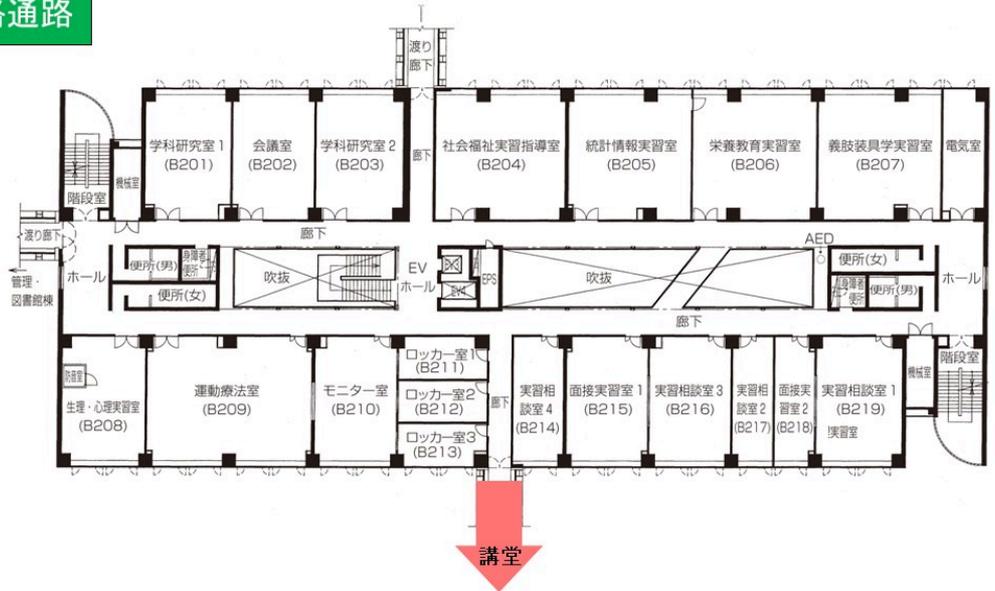


教育研究B棟 1F
ポスター発表会場、市民公開講座会場、クローク

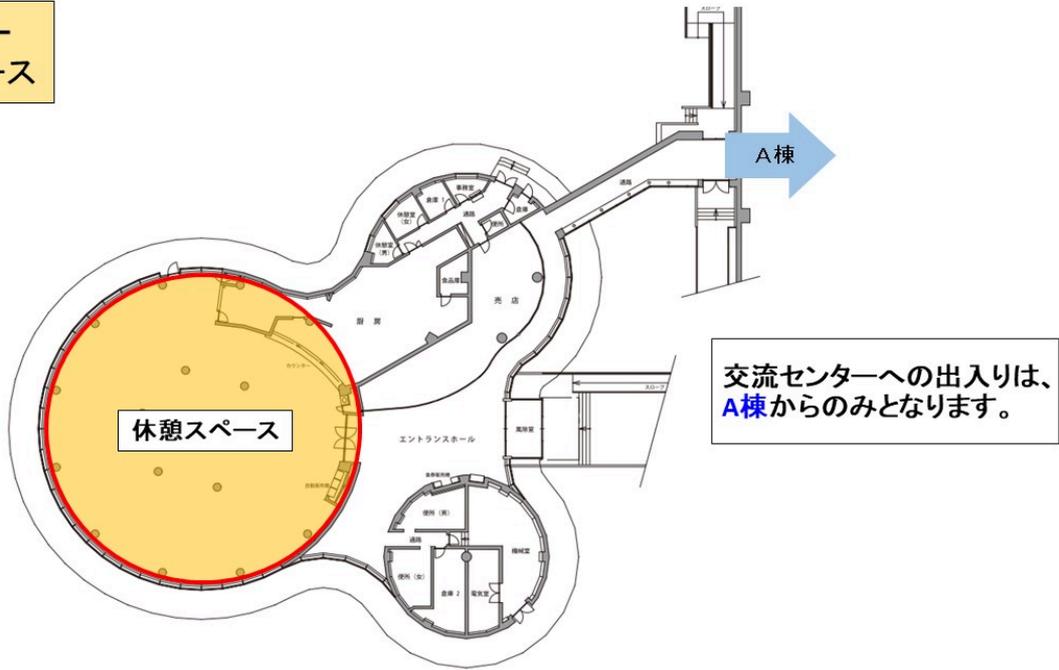
- 【プログラム】**
9月7日
 ・ポスター発表①～⑤
9月8日
 ・ポスター発表⑥～⑩
 ・市民公開講座



教育研究B棟 2F
メイン会場への連絡通路



交流センター
休憩スペース



託児所のご案内

学術大会期間中、会場内に託児所を設けます。申し込みを希望される方は下記申し込みフォームよりお申込みください（完全予約制）。

対象年齢

3-6才

託児場所

学会会場内（青森県立保健大学）

ご利用可能時間

申し込みフォーム内でご確認ください。

料金

無料（託児料金は第42回東北理学療法学会で負担いたします）

託児人数

各時間帯最大6名程度

スタッフ

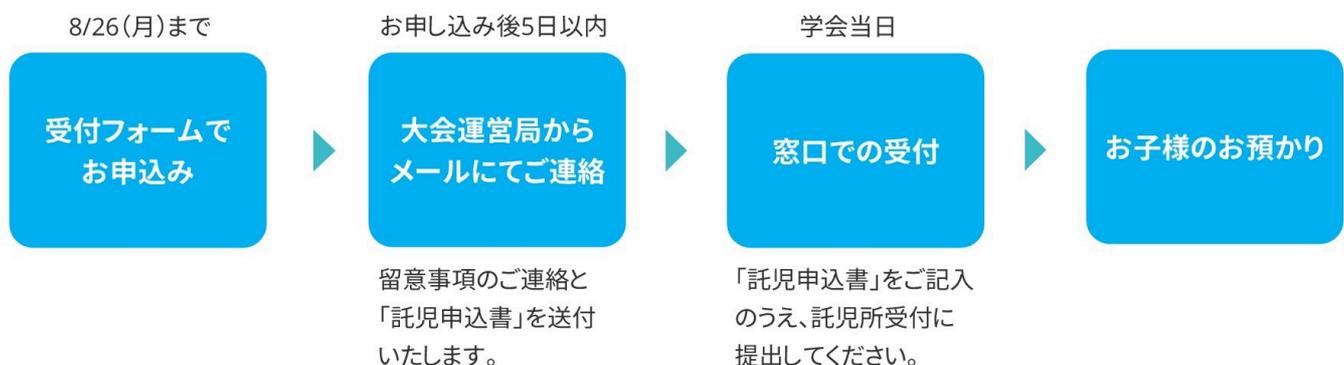
特定の講習を修了した経験豊富なシッターが対応いたします。

委託先：NPO法人子育て応援隊 ココネットあおもり

保険

保育に関して万全の態勢を整えておりますが、不測の事態が発生した場合には、委託法人が加入する保険の適用範囲で補償いたします。

申し込みからご利用までの流れ



託児所のお申込みは [こちら](#) から
【申込締切日2024年8月26日（月）】

<https://forms.gle/39eRdp9u6YWXA8nT9>



お申込み完了後、メールにて託児に関するご連絡と「託児申込書」をお送りします。「託児申込書」はご記入の上、当日託児所までお持ちください。

時間帯によって受け入れ人数を越える応募があった場合は先着順となりますのでご了承ください。完全予約制につき、ご予約がない場合はご利用いただけません。

【お問い合わせ先】

第42回東北理学療法学会 託児所担当

Eメールアドレス：kodate0108@gmail.com

参加者へのご案内

【参加受付について】

《場所》 大学講堂1Fエントランスホール

《受付時間》

9月7日（土） 9:00~19:00

9月8日（日） 9:00~13:00

- 1 会員の方はJPTAアプリでの受付をお願いいたします。
- 2 非会員の方は参加申込書に所属・氏名を記入の上、受付をお願いいたします。

【クローク】

《場所》 教育研究B棟1F（B111）

《お預かり時間》

9月7日（土） 9:00~19:00

9月8日（日） 9:00~13:00

- 1 参加受付け後にご利用ください。
- 2 貴重品やパソコン等の機器類はお預かりできませんので、ご了承ください。

【会場内での留意事項】

- 1 会場内では、必ず名刺の入ったホルダーを首から下げ、確認できるようにしてください。名刺が確認できない方の入場はお断りさせて頂く場合がございます。受付会場にて名刺プレート及びホルダーの準備をしておりますので、受付終了後、氏名をご記入いただき活用ください。
- 2 緊急性・公共性の高いご案内については会場アナウンスを致します。また、個人のお呼び出しについては緊急性を除き対応はいたしかねますのでご了承ください。

- ③ 携帯電話やスマートフォンは、会場内において協会アプリ使用时以外は電源をお切りになるか、マナーモードに設定してください。
- ④ 会場内での録音、カメラ撮影、ビデオ撮影はお断りいたします。
- ⑤ 全会場内での飲食は原則禁止となっております。会場外の廊下等での飲水は可能ですが、床や施設物品等を汚さないようにご配慮をお願いします。
- ⑥ お食事の際は会場近隣の飲食店、または休憩スペースである交流センターをご利用ください。なお、売店、食堂の営業はございませんので、お食事については各自でご準備いただくようお願いいたします。また、ゴミのお持ち帰りにご協力をお願いいたします。
- ⑦ 駐車場・駐車中の車内を含む大学敷地内は全面禁煙となっております。加熱式タバコ等についても遠慮いただくようお願いいたします。
- ⑧ 服装についてはクールビズ(ノーネクタイ・ノージャケット等)でのご参加も可能です。

【オンデマンド配信について】

- ① 本学会では会場参加とオンライン参加の皆様を対象として、閉会後に一部プログラムのオンデマンド配信（配信期間は9月20日（金）～10月6日（日）を予定）を行う予定です。配信につきましては、詳細が決まり次第HP等でお知らせいたします。
- ② オンデマンド配信視聴のみによるポイント・点数の付与はございませんので、ご注意ください。

参加登録のご案内

本大会は、ハイブリット開催（対面・オンライン）です
参加登録にあたり、下記をご確認ください

尚、一部プログラムは閉会後にオンデマンド配信（配信期間は9月20日（金）～10月6日（日）を予定）を行いますが、オンデマンド配信視聴のみによるポイント・点数の付与はございませんので、ご注意ください。配信につきましては、詳細が決まり次第HP等でお知らせいたします。

1. 事前参加登録期間

令和6年7月15日（月）～ 令和6年8月31日（土）

※手続きの都合により現金振込は8月12日（月）、クレジットカード払いは8月31日（土）が締切となりますので、余裕を持って登録手続きをお願いいたします。

2. 参加費

① 事前参加登録期間は令和6年7月15日（月）～ 令和6年8月31日（土）となります。

② 参加費は下記の通りです。なお、事前参加登録は当日参加登録に比べて参加費がお安くなっております。加えて、当日の手続きも簡易的となりますので、事前参加登録をお勧めいたします。

	事前登録	当日参加登録	デイパス
日本理学療法士協会会員	4,000円	5,000円	3,000円
日本理学療法士協会非会員	8,000円	10,000円	6,000円
日本理学療法士以外の医療従事者	4,000円	5,000円	3,000円
理学療法士学生	—	無料	—

3. 申込方法

① 日本理学療法士協会会員の皆様は、[日本理学療法士協会](#)マイページまたはJPTAアプリよりお申し込みください。

セミナー番号は以下の通りとなりますので、お間違えのないようお願い申し上げます。

セミナー番号 会場参加：129387 オンライン参加：129388

② 日本理学療法士協会会員でデイパスを希望される皆様、日本理学療法士協会非会員の理学療法士の皆様、理学療法士以外の医療従事者の皆様は下記よりお申し込みください。

『[第42回東北理学療法学会大会 | Payvent\(ペイメント\) | クレジットカード決済プラットフォーム](#)』

③**理学療法士学生の皆様**は当日会場参加のみとなります。直接会場へお越しいただき、受付にて学生証を提示し参加手続きをお願いします。なお、学生とは養成校在学者を指し、理学療法士免許を保有される方（編入学部制・大学院生）を除きます。

④令和6年9月1日（日）以降は当日参加登録料金となります。日本理学療法士協会会員の皆様は協会マイページの使用が不可となり、全ての登録を大会HPの案内に従って行うこととなりますので、予めご了承ください。

4. オンライン参加について

オンライン参加のお申し込みをされた方へ学術大会開催の5日前を目途に配信用zoomウェビナーへログインするためのミーティングIDとパスコードが配布されます。ライブ配信となりますので、時間に気をつけてご視聴ください。また、オンライン参加の申し込みについては**8月31日（土）23:59を締切**とさせていただきます。あらかじめご了承ください、事前参加登録にご協力いただきますようお願い申し上げます。

5. 参加登録完了後の変更やキャンセルはお受けできません。予めご了承ください。

6. 参加登録は協会マイページまたはJPTAアプリからとなります。学会参加、各種講演によるポイント付与にはJPTAアプリを使用しますので、学術大会前までにJPTAアプリのダウンロードをお願いいたします。なお、オンライン参加の当日申し込みおよびミーティングIDとパスコードの配布については現在調整中となっております。確定次第お知らせいたしますので、今しばらくお待ちください。

7. 参加登録における注意点

①日本理学療法士協会会員の方は参加登録をされる前にJPTAアプリよりご自身の会員番号・登録メールアドレス・パスワードをご確認ください。

②JPTAアプリ登録上のメールアドレスを変更される場合は、参加登録後の変更は反映されませんので、必ず参加登録前にマイページよりメールアドレスの変更をお願いいたします。大会側で発信するメールが届かない場合に生じる不利益等については責任を負いかねます。

③当日参加の日本理学療法士協会員は、JPTAアプリによるQRコード読み込み（クレジット決済）のみとなっておりますのでご注意ください。その他の参加決済方法では当日の参加登録は一切受付できませんのでご了承ください。

④日本理学療法士協会に対して会費等何らかの未納がある方、入会手続き中の方、休会中の方はJPTAアプリをご利用できません。会費等未納状態の方は、協会年会費を入金後（お振込みから数日後）に参加登録をしてください。年会費未納の場合は請求の際、非協会員価格での請求となります。非協会員価格での参加登録の後に年会費を納入されても、差額は返金されません。また、口座振替で参加登録を行ったにもかかわらず期日までにご入金が確認できなかった場合は、参加受付はできません。

⑤以下の理由により中止または開催方式の変更が行われた場合、参加費または差額の返金には対応致しかねます。ご了承ください。

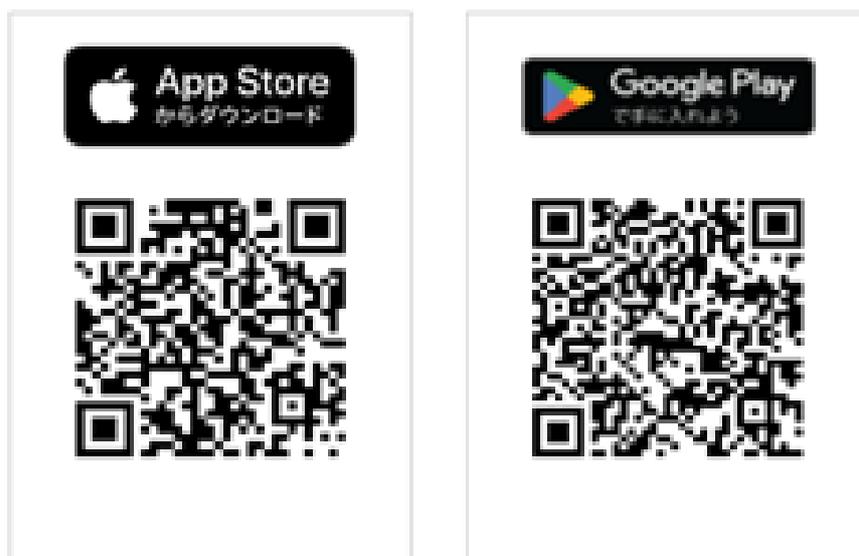
*自然災害・感染症の蔓延・法令行政機関からの通知等主催者の責によらない場合等

⑥学会当日は託児所を設置しております。託児所をご希望の場合には、「[託児所のご案内](#)」をご確認の上、申込フォームのURL/QRコードよりお申し込みください。

生涯学習制度におけるポイントおよび点数取得について

- ・生涯学習制度上、登録理学療法士更新は「●ポイント」、認定・専門理学療法士更新は「●点」と呼称し、区別しています。
- ・研修会や学会参加等が「登録理学療法士更新」「認定・専門理学療法士 新規・更新」の各種要件に複数該当する場合があります。基本的に1つの活動は該当するいずれかの要件に1回限り使用できます（重複使用不可）。どの要件に使用するかの選択は、各資格の新規・更新申請時ではなく、各活動の申込時に選択をお願いします。
- ・日本理学療法士協会会員の方の学会参加と各講演の履修実績は、会員マイページ専用アプリJPTAアプリにて、QRコードを読み取ることでマイページに反映されます。事前にJPTAアプリのご準備をお願いします。読み取りができなかった場合は未修得となりますのでご注意ください。履修登録申請時にQRコードを読み取る場合、履修目的を選択する必要があります。選択された履修目的は、申込後には変更できませんので、十分にご確認の上お申し込みください。
- ・本学会では会場参加とオンライン参加の皆様を対象として、閉会後に一部プログラムのオンデマンド配信を行います（配信期間は9月20日（金）～10月6日（日）を予定）。尚、オンデマンド配信視聴のみによるポイント・点数の付与はございませんので、ご注意ください。

《JPTAアプリのダウンロードは[こちら](#)から》



【QRコード掲示方法】

会場参加：学会大会当日の会場内に掲示いたします。

オンライン参加：画面上に提示いたします。

【QRコード読み取り手順】

以下の手順でJPTAアプリにて読み込みをお願いいたします。

1. JPTAアプリを起動
2. **「QR」**ボタンをタップ
3. QRコードリーダーが起動
4. QRコードを読み込む

【学会参加で付与されるポイント・点数】

*会場・オンライン参加共通

ブロック主催の学会 参加

■ 該当する要件

登録理学療法士
更新

認定理学療法士
新規

専門理学療法士
新規

認定・専門
理学療法士更新

- ①登録理学療法士更新のポイント：11ポイント

カリキュラムコード：165 地域医療と理学療法

- ②認定・専門理学療法士更新：11点

- ③専門理学療法士新規

のいずれか1つを選択していただきます。

【各講演参加で付与されるポイント・点数】

ブロック主催の研修会 参加（受講）

■ 該当する要件

登録理学療法士
更新

認定理学療法士
新規

専門理学療法士
新規

認定・専門
理学療法士更新

- ①登録理学療法士更新

- ②認定・専門理学療法士更新

のどちらかを選択していただきます。

*各講演参加で付与されるポイント・点数の詳細

講演タイトル	登録理学療法士更新		認定・専門理学療法士 取得・更新
	カリキュラムコード	履修 ポイント	履修点数
大会長基調講演 「2025年を見据えた理学療法」～キャリア形成と地域保健～	154 地域保健	0.5	0.5
特別講演1 行政説明「介護・高齢者福祉について」 ～介護保険や地域包括ケアの推進などの施策・制度～	19 理学療法政策	1	1
特別講演2 トリプル改定と理学療法の未来	14 医療制度と法律	0.5	0.5
教育セミナー1 リハビリテーション部門における組織管理～キャリア教育と今後の展望～	159 スタッフ教育と教育システム	1	1
教育セミナー2 生きた自助具としての介助犬～理学療法士・作業療法士としての関わり～	149 福祉用具	1	1
教育セミナー3 運動器疾患の疼痛管理を目的としたさまざまな物理療法の適応	96 疼痛に対する理学療法	1	1
教育セミナー4 労働者を支える産業保健理学療法の現状と未来	155 産業理学療法における理学療法	1	1
教育セミナー5 地域の義肢装具ユーザーを支えるために	147 義肢	1	1
シンポジウム1 理学療法士のキャリア形成～選ばれる理学療法士になる為には?～	157 各ライフステージの人間理解	1	1
シンポジウム2 地域における予防理学療法の実践と展望について	150 予防と保健	1	1
東北ブロック協議会学術局主催講座 誰でも明日から始められる臨床研究～研究の準備から学会発表まで～	48 研究法	1	1
市民講座 歩くを科学する～かかとから歩けばいいんだべ??～	59 活動	0.5	0.5

【発表者、講師、座長、査読者の皆様へ】

以下に該当する皆様には認定・専門理学療法士更新に関わる点数が付与されます。
点数の付与は学会で一括して行いますので、個別の申請は必要ありません。

項目		点数
学会での一般発表	4-1)	20
学会での講演講師・シンポジスト	4-2)	20
学会での座長	4-3)	10
学会での演題査読	4-4)	5

その他、詳細は公益社団法人日本理学療法士協会ホームページ内「生涯学習制度について」をご確認ください。

[生涯学習 | 公益社団法人 日本理学療法士協会 \(japanpt.or.jp\)](http://japanpt.or.jp)



大会企画プログラム

大会長基調講演：オンデマンド配信対象

「2025年を見据えた理学療法」～キャリア形成と地域保健～

9月7日（土）11：50～12：20 メイン会場（大学講堂）

講師 岩月 宏泰 氏

青森県立保健大学

司会 高橋 仁美 氏

福島県立医科大学

特別講演①：オンデマンド配信対象

行政説明「介護・高齢者福祉について」
～介護保険や地域包括ケアの推進などの施策・制度～

9月7日（土）13：30～14：30 メイン会場（大学講堂）

講師 阿部 亜希子 氏

東北厚生局

司会 古木名 寿登 氏

五所川原リハビリ倶楽部

特別講演②：オンデマンド配信対象

トリプル改定と理学療法の未来

9月7日（土）17：50～18：40 メイン会場（大学講堂）

講師 田中 昌史 氏

参議院議員

司会 氣仙 裕 氏

東通地域医療センター

教育セミナー①：オンデマンド配信対象

リハビリテーション部門における組織管理—キャリア教育と今後の展望—

9月7日（土）10：00～11：00 メイン会場（大学講堂）

講師 神戸 晃男 氏

東京国際大学

司会 越後 あゆみ 氏

東北メディカル学院

教育セミナー②：オンデマンド配信対象

生きた自助具としての介助犬～理学療法士・作業療法士としての関わり～

9月7日（土）10：00～11：00 第1サテライト会場（教育研究A棟 A101教室）

講師 野口 裕美 氏

四條畷学園大学

司会 岩月 宏泰 氏

青森県立保健大学

教育セミナー③：オンデマンド配信対象

運動器疾患の疼痛管理を目的としたさまざまな物理療法の適応

9月8日（日）9：30～10：30 メイン会場（大学講堂）

講師 前田 貴哉 氏

弘前記念病院

司会 吉田 英樹 氏

弘前大学

教育セミナー④：オンデマンド配信対象

労働者を支える産業保健理学療法の実状と未来

9月8日（日）10：40～11：40 メイン会場（大学講堂）

講師 佐藤 友則 氏

東北労災病院

司会 横田 純一 氏

弘前大学

教育セミナー⑤：オンデマンド配信対象

地域の義肢装具ユーザーを支えるために

9月8日（日）10：40～11：40 第1サテライト会場（教育研究A棟 A101教室）

講師 時吉 健輔 氏

青森日東義肢製作所

司会 漆畑 俊哉 氏

青森県立保健大学

シンポジウム①：オンデマンド配信対象

理学療法士のキャリア形成～選ばれる理学療法士になる為には？～

9月7日（土）14：40～15：50 メイン会場（大学講堂）

◎ 一般企業からみた理学療法士のキャリア課題

講師 上菌 紗映 氏

日本精神心理領域理学療法研究会

◎ 理学療法士の自律的キャリアを目指すための包括的戦略

講師 渡邊 賢治 氏

戸田中央メディカルケアグループ本部

座長 米田 良平 氏

平内中央病院

諸橋 勇 氏

青森県立保健大学

シンポジウム②：オンデマンド配信対象

地域における予防理学療法の実践と展望について

9月7日（土）14：40～15：50 第1サテライト会場（教育研究A棟 A101教室）

◎ 介護予防事業における理学療法士の関わり

講師 日向 遥香 氏

メディカルコート八戸西病院

◎ 福島県理学療法士会における産業理学療法の取り組み

講師 平野 雄三 氏

南東北春日リハビリテーション病院

座長 長谷川 至 氏

弘前記念病院

小野寺 遊 氏

メディカルコート八戸西病院

東北ブロック協議会学術局主催講座：オンデマンド配信対象

誰でも明日から始められる臨床研究～研究の準備から学会発表まで～

9月8日（日）10：50～11：50 第2サテライト会場（教育研究A棟 A111教室）

講師 高橋 純平 氏

弘前大学

司会 中村 学人 氏

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

市民公開講座

歩くを科学する ～かかとから歩けばいいんだべ??～

9月8日（日）10：40～11：30 大学教育研究B棟（B110教室）

講師 羽場 俊広 氏

青森県立保健大学

司会 木村 文佳 氏

青森県立保健大学

大会長基調講演

「2025年を見据えた理学療法」～キャリア形成と地域保健～

講演者



いわつき ひろやす
岩月 宏泰

青森県立保健大学 健康科学部理学療法学科

ご略歴

学歴

弘前大学大学院医学研究科医科学専攻修了（博士：医学）

経歴

青森県立保健大学健康科学部理学療法学科（教授）（2008年4月から現在に至る）
青森県立保健大学大学院博士前期課程（2003年4月から現在に至る）及び博士後期課程（2005年4月から現在に至る）研究指導（大学院教員兼任）

司会

高橋 仁美 福島県立医科大学

2024/09/07(土) - 11:50 ~ 12:20
(メイン会場)

講演概要： 大会長基調講演

「2025年を見据えた理学療法」～キャリア形成と地域保健～

岩月 宏泰

青森県立保健大学 健康科学部理学療法学科

2024年6月に昨年度の合計特殊出生率が1.20と過去最低を更新し、少子化の進行は危機的な状況である旨政府の声明がありました。一方、2025（令和7）年までに「団塊の世代」が全て後期高齢者となり超高齢社会を迎えるため、「1人の現役世代が1人の高齢者を支える」という厳しい現実も迫っています。今後も少子高齢化が加速していけば、年金や医療、介護、福祉という社会保障給付費の増大及び人口減少による医療や介護の現場での人手不足から、近い将来現役世代が高齢者を支える社会保障が破綻すると国民の不安も高まっています。

現在、高齢者の医療・介護には病院・施設完結型から居住地の市町村を主体とした、効率的な医療・介護・予防・生活支援サービスの提供と地域住民も参加した地域包括ケアシステムの構築が進められています。このシステムの中で理学療法士の役割は、生活機能低下者に対して運動器、呼吸循環機能などや生活環境を評価し、「心身機能」「活動」「参加」について直接指導を行うことやサービスに従事している他職種に、担当者会議・地域ケア会議を通じて専門性を生かした提案になります。但し、地域包括ケアシステムの趣旨は、保険者である市町村や都道府県が地域の自主性や主体性にに基づき地域の特性に応じて構築するものであるため、このシステムに関わるためには保険者の各種サービスの骨子や支援体制を始めとして、医療保険・介護保険の各種制度、多職種連携の役割、地域資源などを把握する必要があります。日本理学療法士協会では「地域ケア会議推進リーダー」「介護予防推進リーダー」など人材を育成しています。今後は保険者にこれらの研修制度の理解が高まり、研修を受けたリーダーが各市町村の事業を支援することができるよう期待します。

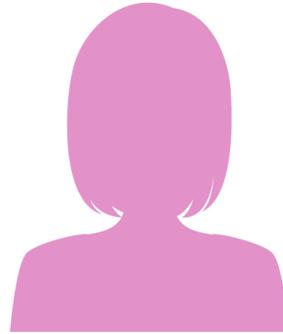
一方、厚生労働省の「医療従事者の需給に関する検討会・理学療法士・作業療法士受給分科会」によると、理学療法士と作業療法士の供給数は、2025年を転換点として需要と供給の逆転が生じる試算が示されています。日本理学療法士協会員の20代、30代の理学療法士数は男女合わせると約10万人で全会員の半数を占めている現状から、直近に理学療法士の需要が減少し競争が激化する環境下で生き残るためのキャリアモデルの構築は喫緊の課題といえます。他方、職域拡大の明るい話題として、介護予防事業等に「理学療法士」の名称を使用することが問題なしとした厚生労働省医事課長通知（医政医発1127号3号、2013年11月）や産業保健活動に理学療法士の活用を促す「第14次労働災害防止計画」（2023年3月）などがあります。今後は行政担当者や企業人事労務担当者に理学療法士の専門性を啓発する必要がありますが、これらの内容は理学療法士のキャリアビジョンや理学療法士を目指す高校生のキャリアパスを具体化させる可能性があります。

本学術大会では、本邦の2025年に迎える人口構造の変化に向けた医療・介護の一体化に重要な役割を果たすことのできる理学療法士モデル及び理学療法士の需給バランスが大きく変化する中での成功するキャリア形成について考えたいと思います。

特別講演①

行政説明「介護・高齢者福祉について」～介護保険や地域包括ケアの推進などの施策・制度～

講師



あべ あきこ
阿部 亜希子

東北厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課

ご略歴

経歴

- 1990年 看護師資格取得 東京通信病院就職
- 1997年 社会保険船橋中央病院就職
- 2014年 社会保険病院などの改組により独立行政法人 地域医療機能推進機構（JCHO）に名称変更
- 2016年 JCHO東京城東病院 副看護部長
- 2018年 認定看護管理者認定取得
- 2021年 JCHO本部関東地区事務所 看護専門職
- 2024年 人事交流にて現所属 地域包括ケア推進官に着任

司会

古木名 寿登 五所川原リハビリ倶楽部

2024/09/07(土) - 13:30 ～ 14:30
(メイン会場)

講演概要：特別講演①

行政説明「介護・高齢者福祉について」
～介護保険や地域包括ケアの推進などの施策・制度～

阿部 亜希子

東北厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課

国は、高齢者が尊厳を保ちながら暮らし続けることができる社会の実現を目指し、高齢者が、介護が必要になっても、住み慣れた地域や住まいで尊厳ある自立した生活を送ることができるよう、質の高い保健医療・福祉サービスの確保、将来にわたって安定した介護保険制度などに取り組んできた。

我が国の医療・介護の提供体制は、世界に冠たる国民皆保険を実現した医療保険制度及び2000（平成12）年に創設され社会に定着した介護保険制度の下で、着実に整備されてきた。一方、高齢化の進展に伴い疾病構造が変化し、これに併せて必要な医療・介護ニーズが変化するなど、医療・介護の提供体制を取り巻く環境は大きく変化している。

いわゆる団塊の世代が全て75歳以上となる2025年にかけて、65歳以上人口、とりわけ75歳以上人口が急速に増加した後、2040年に向けてその増加は緩やかになる一方で、既に減少に転じている生産年齢人口は、2025年以降さらに減少が加速する。人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じている。

重度な要介護状態となっても、今後、増加が見込まれる認知症を有する状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現することが重要であり、この地域包括ケアシステムは保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要がある。

介護保険制度は、3年1期として改訂され、今年度は第9期介護保険事業計画期間が開始されている。今期間内には、2025年を迎えることとなり、今後、団塊ジュニア世代が全員65歳以上となる2040年を展望するにあたっては、国及び地方公共団体において、地域包括ケアシステムの構築状況を確認した上で2040年に向けて取り組んでいく必要がある。この2040年に向けて生産年齢人口が減少していく中で、担い手不足などの地域資源の制約が厳しくなることは不可避であり、自治体が、地域ごとの実情に応じ、施策や事業の優先順位について意識しながら取り組み、地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進を図ることが求められている。

特別講演②

トリプル改定と理学療法の未来

講師



たなか まさし
田中 昌史

参議院議員

ご略歴

学歴

- 1987年 清恵会第二医療専門学院理学療法学科 卒業
- 2010年 北翔大学大学院人間福祉学研究科人間福祉学専攻修了 人間福祉学修士

経歴

- 1995年 北海道千歳リハビリテーション学院 副学院長 兼 理学療法学科長
- 2017年 北海道千歳リハビリテーション学院 副学院長
- 2018年 日本理学療法士協会
- 2023年 参議院議員（現在）

司会

氣仙 裕 東通地域医療センター

2024/09/07(土) - 17:50 ~ 18:40
(メイン会場)

講演概要：特別講演②

トリプル改定と理学療法の未来

田中 昌史

参議院議員 田中昌史事務所

早いもので、令和5年1月18日に繰り上がり当選してから一年半が経ちました。これまでご支援ご協力いただきました皆さまには心から感謝申し上げます。

これまでの間、国会や委員会、部会、議員連盟など様々な政治活動を通して、国会議員としてのあり方や政策決定のプロセス、省庁との関係性など本当にたくさんのご勉強させていただきました。

一年目の議員活動の中で最大の課題はリハビリテーションの拡充や次年度の医療・介護・障害福祉の報酬改定、所謂トリプル改定において理学療法士を始めとしたリハビリテーション専門職の賃上げなどの処遇改善をすることでした。令和5年6月に閣議決定された”骨太の方針”に「リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進を図る」と記載されたことで今後、リハビリテーションの拡充が図られることとなります。また令和5年12月にトリプル改定で医療・介護の両方ともプラス分の0.61%が賃上げ財源として確保されることが決定されましたので、リハビリテーション専門職の処遇が改善される（ベースアップ2.5%相当）こととなりました。まだ道半ばではありますが、少しは良い方向に議論を進められたのではないかと自負しております。

令和5年4月13日・5月15日にリハビリテーションに関する小委員会（※1）、5月8日にリハビリテーションを考える議員連盟（※2）を開催し、その後に各会の決議事項を財務大臣・厚生労働大臣に申し入れたこと、自民党の政策を決定する重要な自民党政務調査会全体会議でリハビリテーションの重要性について、多くの仲間の議員にご発言いただいたことがこのような結果に至った大きな要因です。

国会議員は衆参合わせて700名を超えますが、リハ専門職の国会議員は私1人です。先に述べたように国政レベルでのリハ専門職の課題を解決していくためには多くの仲間（議員）の協力が不可欠です。私もこれまで通り仲間を増やせるよう努めてまいります。皆さまにおかれましても都道府県士会・都道府県連盟にご協力いただき、地元選出の国会議員との関係づくりをより進展させていただければ幸いです。また、リハ専門職の課題は国政レベルの話だけでなく、各地域における介護予防等、地方行政の中にもあります。それらの課題は県議会議員や市議会議員などの地方議員との関係づくりが鍵となります。是非とも都道府県士会・都道府県連盟と一緒に地方議員との関係づくりや政策提言・要望をしていただければと思っています。ご不明な点やご不安な点があればいつでもお問い合わせください。

これからもリハビリテーション専門職、国民の双方にとってより良い社会となるよう精一杯努めてまいります。今後とも、皆さまのお力添えをお願いいたします。

※1.リハビリテーションを考える議員連盟：リハ専門職に関する施策充実・資質向上・処遇改善等を強力に推進することに賛同していただいた自民党国会議員の集まり。現在約180名と、非常に多くの国会議員にご入会いただいている。

※2.リハビリテーションに関する小委員会：自民党政務調査会内に設置されている委員会で、自民党政務調査会は自民党が採用する政策・法案を決定する組織。この重要な組織の中にリハ関連の組織ができた事はリハ専門職の将来にとって明るい材料である。

教育セミナー①

リハビリテーション部門における組織管理 — キャリア教育と今後の展望 —

講師



こうべ あきお
神戸 晃男

東京国際大学 医療健康学部 理学療法学科

ご略歴

学歴

1982年 金沢大学 医療技術短期大学部 理学療法学科 卒業
2007年 金沢大学大学院 医学系研究科博士課程 修了

経歴

1982年 金沢医科大学病院 入職
2021年 東京国際大学 医療健康学部 理学療法学科 入職

司会

越後 あゆみ 東北メディカル学院

2024/09/07(土) - 10:00 ~ 11:00
(メイン会場)

講演概要：教育セミナー①

リハビリテーション部門における組織管理
ーキャリア教育と今後の展望ー

神戸 晃男

東京国際大学 医療健康学部 理学療法学科

病院・施設に勤務する理学療法士は、94%（日本理学療法士協会2023年3月）と報告されており、依然として、理学療法士の1人職場を含め5人以下の職場は、全体の約半数を占めている。一方で、日本は毎年、約1万人の理学療法士が輩出され、急性期病棟のみならず回復期リハビリテーション病棟などへの理学療法士の配置数の増加により、20～30人以上、あるいは50人以上の理学療法士が所属する職場も増えてきたことも事実と思われる。

当該部門の管理者は、対象者に最善の医療を提供し、期待に応えるべく年間、短期目標あるいは将来構想を提示している。適正人員の確保と配置は、対象者の満足度の向上には必要不可欠な要素であり、その他、教育体制、リスク管理、人事考課や働き方改革など組織的なマネジメントが重要である。中でも、最善の医療を提供するための知識・技術の研鑽は重要であり、対象者の満足度に応えるべく、人材を育成し、より良いマネジメントシステムを構築して、理学療法の質を高め、根拠に基づく理学療法を提供することが大切である。

一方、人生100年時代を迎え、多様な価値観、働き方改革、個人尊重の現代社会では、卒前教育での個人のキャリア教育を卒後も一貫して実践し、対象者の満足度の期待に応えることはもちろんのこと、職員1人、1人のキャリア教育を支援し、職場の活性化や職員の満足度の向上を図ることも重要な課題と思われる。

現在、日本の教育については第4期教育振興基本計画（2023～2027年）が打ち出され、この総合的な基本方針については、「持続可能な社会の作り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」としている。ウェルビーイングは、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念」あるいは「多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念」と定義されている。なぜウェルビーイングが求められるのか。日本の子供たちは、諸外国に比し、人生に明確な意義や目的を感じたり、生活全般の満足度、そして困難に直面したとき、解決策をみつける割合が低いことが理由とされている（2023年3月文科省データ）。

前野は幸福に関連する要素には、「自己実現と成長」があり、その他、「つながりと感謝」、「前向きと楽観」、そして「独立と自分らしさ」の4つがあると述べている。さらに、少子化を背景に2040年を見据えた文科省のグランドデザインでは、質保証システムの改善などによる、次世代に即した社会に有益な人材育成を掲げている。

本講演では、管理者のマネジメントの役割を振り返り、歴史的変遷において今、何が求められているのか、そして臨床現場の状況やマネジメントの実践例を提示し、今後の課題についても言及したい。

教育セミナー②

生きた自助具としての介助犬 ～理学療法士・作業療法士としての関わり～

講師



のぐち ゆみ
野口 裕美

四條畷学園大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻

ご略歴

学歴

名古屋大学 医療技術短期大学部 理学療法学科 卒業
 名古屋大学大学院 医学系研究科 リハビリテーション療法学専攻後期課程 修了
 名古屋大学 医学部 保健学科 作業療法学専攻 卒業
 The University of Tennessee Certificate Program in Canine Physical Rehabilitation 認定取得

経歴

青木記念病院
 学校法人モード学園（現：日本教育財団）名古屋医専 理学療法学科 教員
 四條畷学園大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻 教授

所属学会・所属委員会・役員等

- ・日本身体障害者補助犬学会 理事
- ・日本補助犬情報センター 理事
- ・大阪府障がい者施策推進協議会身体障がい者補助犬部会委員
- ・日本理学療法士協会 動物の理学療法部会 部会員

司会

岩月 宏泰 青森県立保健大学

2024/09/07(土) - 10:00 ～ 11:00
 (第1サテライト 会場)

講演概要：教育セミナー②

生きた自助具としての介助犬 ～理学療法士・作業療法士としての関わり～

野口 裕美

四條畷学園大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻

I. 身体障害者補助犬法とリハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士）

2002年10月1日「身体障害者補助犬法」が施行された。この法律の目的は、良質な「身体障害者補助犬」（以下、補助犬）の育成及びこれを使用する身体障害者の施設等の利用の円滑化を図り、身体障害者の自立及び社会参加の促進に寄与する事である。補助犬が身体障害者の自立と社会参加の手段としてリハビリテーションの一環と考えられる様になり、20年以上が経過しようとしている。しかし、この法律の周知度は十分とは言えず、特に医療従事者の補助犬に対する認識は未だ低いのが現状である。この法律により、盲導犬、聴導犬、介助犬を補助犬と総称し、補助犬は身体障害者の自立と社会参加に資するものとして、訓練・認定された犬であり、身体障害者の身体機能の一部を担うものとして位置づけられた。この法律内にて介助犬の育成事業に関して介助犬訓練を医療関係者と連携する事の必要性が示されており、身体障害者補助犬法第二章、第三条に明記されている。更に、身体障害者補助犬法施行規則第二条の3には訓練事業者が協力を得なければならない医療従事者として具体的に理学療法士、作業療法士の名称が挙げられている。

また、障害関連三法の改正とともに、補助犬は「福祉用具等」とされた事から、福祉用具の一つとして、生きた補装具としての位置づけをもった。補助犬は一般的な装具と同様、本人のニーズに合わせた処方と判定などの評価が無ければその目的は適切には果たす事ができない。そのため、補助犬の訓練において、特に介助犬に関しては、リハビリテーション専門職が訓練事業者と連携をとって身体障害者に提供されなければならない。

II. 介助犬育成事業とリハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士）

介助犬育成事業の過程において、介助犬を希望する身体障害者に関しては殆どの場面で理学療法士、作業療法士が関与している。しかし、現状では、ここに関与する理学療法士、作業療法士はごく一部に限られている。介助犬の実働頭数は全国に58頭（2023.10.1現在）であり、介助犬を希望する当事者となる身体障害者の身近に存在している医療従事者は限られているのが現状である。介助犬希望者は肢体不自由者であり、介助犬を希望する段階から認定、そして認定後継続指導まで、介助犬使用者、家族、介助犬訓練士、医師、獣医師、理学療法士、作業療法士、リハビリテーション工学関係者、義肢装具製作者、社会福祉士などとの有機的連携が求められている。

今回、自身が理学療法士として介助犬育成事業に関わってきた経験から、介助犬育成事業における理学療法士の役割と生きた自助具としての介助犬の可能性について述べる。今回のこの講演が「臨床現場にて目の前にいる患者様がもしかしたら、介助犬の適応者かもしれない」というリハビリテーションの手段の1つに介助犬を認識して頂ける事を期待して、また、理学療法士の日々の理学療法的介入の一部として捉える事が職域の裾野を広げ、職域拡大に繋がる事を願って講演する。

教育セミナー③

運動器疾患の疼痛管理を目的としたさまざまな物理療法の適応

講師



まえだ たかや
前田 貴哉

医療法人整友会 弘前記念病院 リハビリテーション科

ご略歴

学歴

- 2013年 弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻 卒業
- 2015年 弘前大学大学院保健学研究科博士前期課程 修了
- 2018年 弘前大学大学院保健学研究科博士後期課程 修了

経歴

- 2013年 弘前記念病院リハビリテーション科 入職

司会

吉田 英樹 弘前大学

2024/09/08(日) - 09:30 ~ 10:30

(メイン会場)

講演概要：教育セミナー③

運動器疾患の疼痛管理を目的としたさまざまな物理療法の適応

前田 貴哉

医療法人整友会 弘前記念病院 リハビリテーション科

「物理療法」、さらには「運動器疾患に対する物理療法」と聞くと、どのようなイメージを持たれるだろうか？おそらく、対象者を臥位もしくは座位のような安楽な肢位として、安静を保ちながら（おそらく対象者は目を瞑っている）、電気刺激療法や温熱療法を行っている場面を想像した方が多いのではないだろうか。また、物理療法を行い、疼痛部位周辺のマッサージに終始するような「リハビリテーション」を行うセラピストもいるかもしれない。

物理療法の主たる目的のひとつが鎮痛効果である。ホットパックをはじめとする温熱療法、炎症症状の軽減を目的とした寒冷療法、鎮痛を目的とした経皮的電気神経刺激療法（TENS）は非常に適応が広く、機器さえあれば実施も簡便である。対象者の苦痛を軽減するために選択することも多いのではないだろうか。様々な運動器疾患に対する物理療法の鎮痛効果は多くの先行研究でその有効性が報告されている。筆者らもこれまでに腰椎変性疾患や変形性膝関節症、整形外科術後の症例に対する電気刺激療法、温熱、寒冷療法の単独、もしくは併用施行した場合の鎮痛効果について報告してきた。

しかし、物理療法の施行により即時的な鎮痛効果を得られたとして、その間、もしくはその後何を行うかが非常に重要である。慢性痛の種類によっては物理療法を単独使用した場合の治療効果が限定的であると報告されている場合も多い。ただし、慢性痛を有する対象者に物理療法を施行しても鎮痛が得られないわけではなく、長期的な治療効果を判定した場合に有効性が認められないという解釈である。一方で、多くの運動療法は中～高いエビデンスレベルをもって有効性が認められている。すなわち、物理療法の施行により即時的な鎮痛が得られた状態で運動療法を行い、治療効果を高めていくべきだと考える。

また、疼痛に対する物理療法は鎮痛そのものを目的としたもの以外にも、運動機能障害を改善することで結果的に疼痛を軽減する可能性を有するものもある。筆者らは人工膝関節全置換術後に装着型ロボットであるSingle-Joint Hybrid Assistive Limb（HAL-SJ）を用いた運動を行うことで即時的な鎮痛と膝伸展ROMが改善することを報告した。その効果に関して、複数の視点から考察していく。

最後に鎮痛を目的とした物理療法を行う際に、特に注意・考慮すべき点を挙げる。まず、対象者の病態を十分に把握することである。病期を考えずに物理療法を適応してしまうと鎮痛効果が得られないばかりか、状態を悪化させる可能性もある。また、対象者の心理・社会的要因や、実施する際の説明により、物理療法（特にTENS）の効果が減少するという報告もある。

治療効果が得られなかった場合はその理由を考察し、現在のプログラムを漫然と継続せず、「リハビリテーション」の内容について再考すべきである。

教育セミナー④

労働者を支える産業保健理学療法の実状と未来

講師



さとう ともりのり
佐藤 友則

独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 治療就労両立支援センター

ご略歴

学歴

東北大学大学院医学系研究科博士後期課程（障害科学） 修了

経歴

竹田総合病院

東名厚木病院

東北労災病院 勤労者予防医療センター

東北労災病院 治療就労両立支援センター

司会

横田 純一 弘前大学

2024/09/08(日) - 10:40 ~ 11:40

(メイン会場)

講演概要：教育セミナー④



労働者を支える産業保健理学療法の現状と未来

佐藤 友則

独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 治療就労両立支援センター

日本の平均寿命は過去最高を更新し、今後さらに超高齢社会になると予測されています。一方で、非婚化・晩婚化および結婚している女性の出生率低下により、子供の数が減少し続けています。この少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少は、大きな社会問題になっています。「人生100年時代」という言葉が、現代を表すキーワードとして定着しつつある中、高齢者雇用安定法の改正で、定年を70歳まで引き上げることが企業に求められ（努力義務）、今後さらに高齢労働者の増加が見込まれます。高齢労働者は、雇用の継続にあたって、これまで培った経験や知識などの強みがある一方で、加齢に伴う身体機能の低下を背景とした転倒や腰痛などの作業行動に起因する労働災害が多く、その対策が喫緊の課題となっています。

そのような中で、社会から理学療法士に求められる役割にも変化が見えてきました。2023年3月、我が国の労働災害を減少させるために、国、事業者、労働者等が重点的に取り組むべき事項を定めた中期計画である「第14次労働災害防止計画」（厚生労働省）が策定・公示され、この本文に、労働者の作業行動に起因する労働災害（転倒や腰痛など）の防止対策推進に、“理学療法士等を活用する”という文言が、初めて明記されました。この計画に記された反響は大きく、例えば、国が事業所に対し、労働災害防止に資する装備・設備の導入や運動指導の実施等の支援として補助金を支給する制度「エイジフレンドリー補助金」では、令和5年度から、理学療法士等が行う運動指導が補助の対象になりました。また、全国47都道府県に設置されている産業保健総合支援センターでは、産業保健相談員としての理学療法士の配置が着々と進んでいます（令和6年4月1日現在、22箇所、各都道府県産業保健総合支援センターホームページより）。さらに、事業場に理学療法士等を派遣し、労働災害防止のための支援を行う事業や、産業医・労働基準監督署等との連携による事業者向け転倒・腰痛予防セミナーの開催などが各地で推進されています。

このように、産業保健分野での理学療法士の活動が急速な広がりを見せるなか、日本産業理学療法研究会では、この分野における理学療法の独自性、専門性を明確にするために、「産業保健理学療法の定義」を以下の通り決めました。

【産業保健理学療法の定義（日本産業理学療法研究会、2024年）】

「理学療法士が、産業医学を基礎に専門的知識を生かして、働く人々の心身機能の維持・改善に努め、健康で安全に働くことができる快適な職場環境の形成と労働生産性の向上を促進する活動である。」

本講演では、現在、産業保健分野で理学療法士が置かれている立場を再認識するとともに、未来に向けて、我々のポジションを確立するために何が必要かを、皆様とともに考える機会にしたいと思います。

教育セミナー⑤

地域の義肢装具ユーザーを支えるために

講師



ときよし けんすけ
時吉 健輔

株式会社 青森日東義肢製作所

ご略歴

学歴

- 2008年 青森県立保健大学健康科学部理学療法学科 卒業
- 2011年 国立障害者リハビリテーションセンター学院義肢装具学科 卒業

経歴

- 2011年 田沢製作所（東京・文京区）義肢部 入職
- 2014年 （株）青森日東義肢製作所 義肢部 入職

所属学会・所属委員会・役員等

- ・日本義肢装具士協会 研修委員会副委員長 学術大会委員会副委員長
- ・第29回日本義肢装具士協会学会大会長
- ・日本義肢協会 広報委員
- ・臨床歩行分析研究会 運営委員

司会

漆畑 俊哉 青森県立保健大学

2024/09/08(日) - 10:40 ~ 11:40

(第1サテライト会場)

講演概要：教育セミナー⑤

地域の義肢装具ユーザーを支えるために

時吉 健輔

株式会社 青森日東義肢製作所

近年、義肢装具を取り巻く環境は大きく変わり、地域支援のあり方も時代に合わせて変化させていかなければならない状況となっています。

今回の講演では、東北6県の義肢装具製作所に対してアンケートを行い、各県の更生用義肢装具の判定状況や在宅支援の現状と課題について結果をまとめ、今後の展望を東北の理学療法士の皆さまと共有したいと考えています。

義肢装具難民という言葉が取り上げられるようになり、厚労省は補装具のフォローアップ体制のモデルを構築することを目的に「補装具支給制度等におけるフォローアップ体制の有効性検証のための研究」を令和5年度に実施しました。さらに職能団体である日本義肢装具士協会でも各教育機関を中心に在宅支援についてのさまざまな調査研究を行っています。それらの研究結果も交えながら、地域の義肢装具ユーザーをどのように支えていくべきかを検討したいと考えています。

最新の義肢装具のトピックとして、新しい材料（主にカーボン素材）を使用した装具や電子制御の義肢パーツについても紹介させていただきます。従来の製作方法とは異なる成型方法を採用した装具の製作事例も全国的に増えてきているようですので、症例を供覧しながら現状での利点・欠点をまとめたいと思います。

また、近年増加傾向にある低活動下肢切断者に対する義肢適合の注意点やパーツ選択についても紹介いたします。特に皮膚トラブルについては注意が必要なため、各学会でまとめられたエビデンスを基にトラブルへの対処法を共有させて頂ければと思います。義肢関連の高額パーツ（筋電義手や電子制御膝継手）については自治体によって支給決定の条件が異なるようですが、それぞれのユーザーに適した義肢装具を提供するための選択肢の一助として、2024年7月に開催される義肢装具士協会学術大会での企業展示の最新情報もあわせてご紹介させていただきます。

シンポジウム①

理学療法士のキャリア形成～選ばれる理学療法士になる為には？～

シンポジスト



一般企業からみた理学療法士のキャリア課題

うえの さえ
上 菌 紗映

日本精神心理領域理学療法研究会

ご略歴

学歴

- 2000年 早稲田大学人間科学部卒業
- 2001年 東京医療学院理学療法学科卒業、理学療法士免許取得
- 2020年 国家資格キャリアコンサルタント免許取得
- 2022年 EAPメンタルヘルスカウンセラー資格試験合格

経歴

- 2001年 船橋整形外科理学療法診療部入職
- 2005年 船橋整形外科理学療法診療部退職
平川病院リハビリテーション科入職、科長拝命
- 2010年 精神心理領域理学療法部門 運営幹事就任
- 2021年 平川病院リハビリテーション科統括就任/企画室兼任
日本精神心理領域理学療法研究会理事長就任
- 2023年 平川病院リハビリテーション科退職
パーソルプロセス&テクノロジー株式会社入職
- 2024年 パーソルワークススイッチコンサルティング株式会社の分社化に伴い転籍
現在コンサルタントとして活動中



理学療法士の自律的キャリアを目指すための包括的戦略

わたなべ けんじ
渡 邊 賢治

戸田中央メディカルケアグループ本部

ご略歴

学歴

- 2000年 高知医療学院 理学療法学科卒 理学療法士免許取得
- 2021年 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科卒
医療ビジネス経営学 修士
- 2022年 国家資格 キャリアコンサルタント取得

経歴

- 2000年 医療法人社団東光会 戸田中央総合病院
- 2003年 医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院
- 2006年 医療法人社団東光会 訪問看護ステーション上戸田
- 2009年 医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院
- 2020年 一般社団法人TMG本部

座長

米田 良平 平内中央病院

諸橋 勇 青森県立保健大学

2024/09/07(土) - 14:40 ~ 15:50

(メイン会場)

講演概要：シンポジウム①

一般企業からみた理学療法士のキャリア課題

上 菌 紗 映

日本精神心理領域理学療法研究会

本シンポジウムでは、理学療法士のキャリア形成をテーマとして掲げ、現在のVUCAの時代に対応し、一人ひとりが自分らしいキャリアを形成していくためのヒントについて議論をしていく予定である。

VUCAについては、現代の変化に富む曖昧かつ複雑な様相を示す造語で、昨今の感染症拡大や、価値観の多様化などにより、大きく社会の様相が変わっていることを示している。

演者は、20数年間の理学療法士として医療現場で勤務する中で、キャリア形成やメンタルヘルス対策について興味関心を深め、現在は、一般企業で業務コンサルタントとして勤務しながら、国家資格キャリアコンサルタントとして、講演活動・カウンセリングを行っている。その中で、自身の最も大きなバックグラウンドである理学療法士としてのキャリア形成に関する昨今の課題について考える機会が多い。

SNSの発展で、情報収集は容易になる一方で、情報に関してリテラシーが求められ、不確かな情報に心を揺さぶられる人は多い。特に、理学療法士の今後については、否定的な情報も多く、不安を抱いている人も多いだろう。本来、このような不安についてはキャリア教育やキャリアカウンセリングで軽減するか、抜け出すための方策を練ることが多いが、残念ながら日本、医療業界ではこの部分については制度的、文化的な脆弱性があり、まだまだ十分ではないというのが現実である。

演者は、医療業界を離れ、一般企業で勤務している。非医療従事者の中で働くことで、理学療法士業界を外から眺め、その構造的な課題について考察する機会を得た。理学療法士業界は、日本のキャリアに関する課題となる構造的な問題だけでなく、医療業界ならではの問題も合わせ、キャリア形成に関する大きな課題がある。

その内容についてシンポジウムにて話題提供ができればと考えている。

講演概要：シンポジウム①

理学療法士の自律的キャリアを目指すための包括的戦略

渡邊 賢治

戸田中央メディカルケアグループ本部

近年、「キャリアデザイン」や「自律的キャリア」という考え方が注目されています。特に、2000年の介護保険制度の施行以降、理学療法士が介護保険領域に参入する機会が増え、専門職としての活躍だけでなく、自ら介護事業者としても積極的に関与するケースが増えています。さらに、ヘルスケア分野全般で、理学療法士の専門知識を活用した新しい業務形態が次々と生まれています。

これにより、理学療法士の活躍の機会が増え、自分に合った職域や新たな可能性が広がり、さまざまなキャリアの選択肢が増えて、より多様なキャリアをデザインしやすい環境が整いつつあります。

このようなポジティブな動向とは対照的に、業界全体には解決すべき課題も存在します。特に、長期間にわたる賃金の停滞や理学療法士の需要供給推計などのデータが公表され、これが将来に対する不安要因の一つとなっています。また、働く人々の価値観の多様化やライフスタイルの変化に伴い、労働環境や支援が必要になりますが、地域や職場環境の違いにより、労働環境にも大きなばらつきがあり、整備が急務となっています。

キャリアが順調な時は良いですが、変化の激しい時代には多くの人がキャリアの転機に直面します。転機にうまく対処できないと、仕事へのモチベーションが低下し、キャリアの停滞が起こる恐れがあります。そのためには様々な転機に対処する力と対策を学ぶ機会として、キャリア教育の重要性が年々高まっています。

しかしながら、現状ではキャリア教育の機会が少ないため、自身の価値観や強みに気づきにくく、将来に向けた漠然とした不安に直面している方が多いのが現状です。職場のマネジメント層においてもキャリア支援についての学びの機会が不足しており、職員の定着や活躍支援に課題を感じている方が多く存在します。

そこで、本シンポジウムではキャリア教育の重要性を掘り下げ、理学療法士が自分のキャリアを積極的にデザインするための具体的な方法論について議論します。また、マネジメント層を含む参加者がオープンなキャリア環境をどのように実現していくか、具体的な手段や戦略についても議論を目指して参ります。

シンポジウム②

地域における予防理学療法の実践と展望について

シンポジスト



介護予防事業における理学療法士の関わり

ひむかい はるか
日向 遥香

メディカルコート八戸西病院

ご略歴

学歴

2016年 東北福祉大学健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 卒業

経歴

2016年 メディカルコート八戸西病院 リハビリテーション部 理学療法科 入職



福島県理学療法士会における産業理学療法の取り組み

ひらの ゆうぞう
平野 雄三

南東北春日リハビリテーション病院

ご略歴

学歴

2000年 秋田大学医療技術短期大学部（現秋田大学医学部保健学科）卒業

経歴

2000年 一般財団法人脳神経疾患研究所付属総合南東北病院 入職
 2004年 医療法人社団三成会 南東北春日リハビリテーション病院 出向
 2014年 疾病予防運動施設 メディカルフィットネスさくら開設準備室
 2021年 南東北春日リハビリテーション病院 健康経営推進委員会(兼任)
 2023年 医療法人社団三成会 南東北春日リハビリテーション病院 リハビリテーション科 科長

所属学会・所属委員会・役員等

- 一般社団法人 福島県理学療法士会 副会長 産業理学療法委員長
- 福島県リハビリテーション専門職団体協議会 事務局長
- 公益社団法人日本理学療法士協会 士会支援事業運営部会員
- 福島県産業理学療法ネットワーク 代表
- 須賀川市介護保険事業計画・高齢福祉計画策定委員

座長

長谷川 至 弘前記念病院

小野寺 遊 メディカルコート八戸西病院

2024/09/07(土) - 14:40 ~ 15:50

(第1サテライト 会場)

講演概要：シンポジウム②

介護予防事業における理学療法士の関わり

日向 遥香

メディカルコート八戸西病院



八戸市は、「医療」「介護」「住まい」「生活支援・介護予防」等を一体的に提供する仕組みである地域包括ケアシステムの構築を図り、深化・推進してきた。急速に人口減少・少子高齢化が進展する中で、八戸市においても令和2年9月末現在の30.8%と令和5年9月末現在の32.1%を比較してみると高齢化率は1.3%増加しており、いわゆる団塊の世代が後期高齢者となる令和7年（2025年）には33.4%に増加する見込みとなっている。また、高齢者人口がピークを迎える令和22年には団塊ジュニア世代がすべて65歳以上の高齢者となることに加え、85歳以上の人口が増加し、医療・介護双方のニーズを有する高齢者や重度の要介護認定者の増加が想定される。そのため、地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保が八戸市の課題になると思われる。

八戸市では、令和2年現在、65歳以上である約7万人（69,672人）の内介護保険認定者数約1万1千人（11,337人）を除いた約6万人の高齢者、つまり一般高齢者（元気な高齢者）への介護予防のアプローチ・啓蒙活動が重要とし、事業の拠点として令和2年8月、八戸市総合保健センター内に介護予防センターを開設した。介護予防センターが目指す目標は、介護予防に取り組むきっかけや環境づくり、介護予防を支援する人材育成である。対象者は概ね65歳以上で要介護・支援認定を受けていない方、総合事業を利用していない方である。介護予防センターの職員構成は、正職員が4名（保健師3名、事務1名）、会計年度職員が4名（介護支援専門員1名、管理栄養士1名、保健師1名、作業療法士1名）である。理学療法士は、公益財団法人メディカルコート八戸西病院が契約を結び、職員を派遣している。理学療法士が関わっている事業は、体操会、集いの場、介護予防相談、介護予防教室、家族介護教室である。その他PTは関与しないが、回想法、認知症カフェ、認知症サポーター養成講座、家族のつどいといった認知症に関するものもある。

厚生労働省が掲げる介護予防の理念では、生活機能の低下した高齢者に対し、「心身機能」「活動」「参加」それぞれの要素にバランスよく働きかけることが重要、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、一人一人の生きがいや自己表現のための取り組みを支援して、QOLの向上を目指すものと述べられている。これはまさしく、私たち理学療法士が担っている役割であると考えている。事業を通して、理学療法士が専門的視点から利用者のアセスメントを行い、介護予防やフレイル予防のための相談対応、普及啓発を行ったことで、高齢者が自ら介護予防に取り組むことが出来るよう、支援が出来たと考える。センター開設から令和6年現在まで、たくさんの方々に利用頂いているが、利用者からは、「理学療法士からマンツーマンでの指導が受けられてよかった」「センターに通うようになってから散歩が日課になった」などといった声が聞かれている。

今後の展望としては、理学療法士の専門性を活かし、地域の特性を踏まえながら住民が主体の介護予防を地域に展開し、住民同士で支えあっていくといった体制を構築していくことが必要となる。また、我々理学療法士が地域に出て活躍するためには、所属施設の協力や理解が必須であるが、事業方針やマンパワーの問題により介護予防事業への参加が難しいケースが聞かれる。行政に委託され、介護予防事業に従事する理学療法士は全国的にもまだ少ない。八戸市が行政として運営する介護予防センターの取り組みの中で、理学療法士ができることを模索しながら、理学療法士の新しい職域確立へ寄与できるよう努めていきたい。



講演概要：シンポジウム②

福島県理学療法士会における産業理学療法の取り組み

平野 雄三

南東北春日リハビリテーション病院

【はじめに】

産業衛生領域の理学療法は、2025年を機転とした生産年齢人口の急激な減少を背景に、労働力の確保という新しいニーズに対応すべく需要が高まっている。具体的には高齢労働者の参画、健康経営を中心とした企業内での健康増進活動の促進、労働災害防止に資する取り組み等があり、産業理学療法の活動を加速させている。

【産業理学療法の取り組みの背景】

当士会では公益事業の一環として平成27年から令和2年まで介護従事者を対象とした「包括的腰痛予防研修会」を実施してきた。研修会は三つの柱で構成されており、腰痛予防の為に①運動療法②介助技術③福祉用具の活用があり、延べ791名の受講者、延べ約120名の理学療法士に講師の実践を依頼した経緯がある。

そのような中、(公社)日本理学療法士協会において高齢者の活躍を促進するための就労施策等の政府方針を踏まえ、高齢労働者の就労支援に関するモデル事業(以下モデル事業)の公募が令和3年11月に行われ、当士会においてこれまでの上記の実績を踏まえ応募し、当士会と、新潟、岡山県士会の3士会が採択される事となった。

【モデル事業の内容】

モデル事業において実施した事業は腰痛予防事業であり4つの事業から構成されている①協会けんぽとの連携による健康経営事業所宣言対象事業所に対する腰痛予防講習会②福島県福祉機器協会と提携した介護事業所対象の移乗動作に関する講習会③腰痛に関するアンケート調査事業④腰痛予防に関するコンテンツ制作を実施した。

【今後の展望】

モデル事業を通じて、産業理学療法の事業展開の実践を経験できたことは大変有益なものとなった。我々の事業においては腰痛発生率の低下やプレゼンティーズム、アブセンティーズムの改善、離職率の低下などの具体的なアウトカムを通じて、事業の成果を示していかなければならない。そのためには、講習会のような全体的、一方向的支援から、個別指導や企業支援といった、個別的、双方向的支援まで幅を広げた活動が必要となる。そのような事業展開をしていくためには、①人材発掘・人材育成②支援体制の標準化③コンテンツの充実などをキーワードにして事業を推進していかなければならない。そして事業成果を水平展開しながら様々な企業・関係団体へのアプローチを行うことで、産業理学療法のフィールドが広がる可能性がみえてくると考える。

東北ブロック協議会学術局主催講座

誰でも明日から始められる臨床研究 ～研究の準備から学会発表まで～

講師



たはかし じゅんぺい
高橋 純平

弘前大学

ご略歴

学歴

- 2005年 弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻 卒業
- 2009年 山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科 修了
- 2014年 弘前大学大学院保健学研究科博士後期課程 修了
- 2023年 放送大学教養学部教養学科 心理と教育コース 卒業

経歴

- 2005年 医療法人篠田好生会篠田総合病院
- 2010年 東北文化学園大学医療福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 助手
- 2013年 同 助教
- 2016年 弘前大学大学院保健学研究科 助教
- 2023年 同 准教授

司会

中村 学人 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

2024/09/08(日) - 10:50 ～ 11:50
(第2サテライト 会場)

講演概要：東北ブロック協議会学術局主催講座

誰でも明日から始められる臨床研究
～研究の準備から学会発表まで～

高橋 純平

弘前大学大学院保健学研究科 総合リハビリテーション科学領域

臨床研究を一から始めるにあたり大変なことは、統計解析でもデータ収集でもなく、研究を行おうとする動機づけの部分だと考えています。極端に言えば、研究活動は学術機関や各施設で義務化されていなければ、通常はしなくてもよい活動です。それでも、研究活動に興味がある、自己研鑽のために行いたいという理学療法士の方は多くいらっしゃいます。学会に参加されている方は、理学療法の研究活動に興味があるという点から考えても十分に明日から研究を始める土台が構築されていると思います。本講演では「やる気はあっても、始め方がわからない」といった、研究活動をこれから初めて行う方向けの話を中心に行います。

講演内容は、具体的な研究方法や統計解析方法などの説明は行わず、研究開始から学会発表までの大まかな研究の流れを説明しながら、その中での重要なポイントについて、これまでの自身の研究活動経験を踏まえながら紹介したいと思います。

おおまかな研究活動の流れは、研究目的の設定、具体的研究方法の計画、倫理的配慮、データの収集と解析、抄録の作成、研究発表、論文投稿です。

研究の土台はクリニカルクエスチョンです。直訳すれば臨床的疑問ですが、研究を行うことで何を明らかにしたいかというのは、単純ですが研究の根幹です。クリニカルクエスチョンを研究動機（リサーチクエスチョン）につなげるためには、文献レビューでの問題の明確化の整理に役立つ「PI (E) CO」に沿って問題を整理したり、良い研究の条件とされる「FINER」に則った条件を整えて研究の質を高めたりすることは重要なことです。しかし、初めての研究活動からエビデンスレベルの高い研究を行うにはハードルが高いと思われます。今ある環境の中での実現可能性を意識しながら、研究方法を無理なく決めていくのが良いと思います。

倫理的配慮について、理学療法研究の多くは人を対象とする研究です。各施設等で倫理審査委員会が設置されているのであればよいですが、もしない場合は条件付きですが、日本理学療法士学会連合が倫理審査を行っているので参照ください。その他、インフォームドコンセントやデータ管理の徹底など、基本的なルールを守ることも重要です。

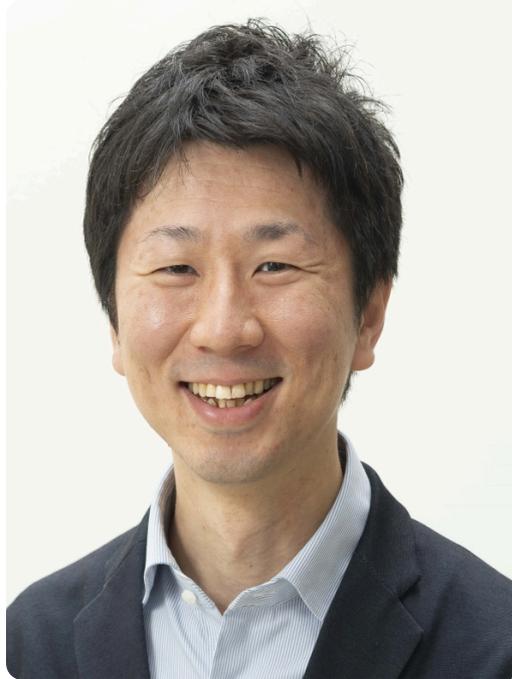
学会発表を行うためには、抄録の作成や発表スライドの作成が必須です。演題登録をすると査読されます。査読のポイントは、新たな知見の有無や理学療法への貢献度、文章構成の適切さなど多岐にわたっています。全てを意識して作成するのは難しいですが、多くの抄録で規定されている、【目的】【方法】【結果】【考察・結論】【倫理的配慮】に沿って文章を作成してください。剽窃ではなく、過去の抄録を参考にするのも良いかと思います。最後に全体を通して熟読してください。できれば、第三者に読んでもらうことで、文章の推敲の助言をもらおうと良いでしょう。

最後に、研究活動を日常業務と並行して行うには、かなりの労力を必要とします。その分学びは大きいですし、理学療法の発展にも貢献できると思います。その一端を担うためにも、学会に参加し、可能であれば研究活動を行い発表につなげてほしいと思います。本講演がその活動の一助になることができれば幸いです。

市民公開講座

歩くを科学する ～かかとかから歩けばいいんだべ??～

講師



はば としひろ
羽場 俊広

公立大学法人青森県立保健大学 健康科学部理学療法学科

ご略歴

学歴

- 2009年 青森県立保健大学健康科学部理学療法学科 卒業
- 2011年 青森県立保健大学大学院健康科学研究科博士前期課程 修了
- 2023年 青森県立保健大学大学院健康科学研究科博士後期課程 修了

経歴

- 2009年 ひがし整形外科リハビリテーションクリニック
- 2011年 特定医療法人社団勝木会やわたメディカルセンター
- 2020年 青森県立保健大学健康科学部理学療法学科 助教

司会

木村 文佳 青森県立保健大学

2024/09/08(日) - 10:40 ~ 11:30

(大学教育研究B棟)

講演概要：市民公開講座

歩くを科学する ～かかとかから歩けばいいんだべ??～

羽場 俊広

公立大学法人青森県立保健大学 健康科学部理学療法学科

すべてのヒトは歩行に対する職人と言っても過言ではない。「自身の年齢-1」の数式の解答がおおよそ歩行に対する職歴と考えられ、歩行はヒトにとって日常生活上、必要不可欠な動作である。それにも関わらず、自身の歩容（歩き方）や歩行能力に目を向けるヒトは決して多くはない。

歩行はただ単に運動器系ばかりではなく、呼吸・循環器系など「からだ」に備えられている、ほぼすべての生体機能調整系の働きを反映している。また、近年では何らかの疾患の発病に先立って歩行速度の低下が生じるとされており、歩行動作の解明には大きな社会的意義がある。

2022年国民生活基礎調査では、歩行において苦勞がある、あるいは歩行ができない者の割合が25%とされ、年齢が高いほどその頻度は多くなる。加えて、高齢者の歩行速度は、入院や介護のリスク、認知症の発症リスク、さらには死亡率にも関連する重要な指標であり、歩行速度の向上は、疾病予防や介護予防の観点からも重要な意味を持つ。

歩行は効率的でエネルギーロスの少ない移動手段であり、倒立振子理論を拡張した「動歩行原理」が関与する。倒立振子理論では身体重心（center of mass: COM）の上下動、前後動によるエネルギーを最適化したものが正常な歩行と考えられている。歩行周期中の身体重心に着目する場合、初期接地では身体重心の移動速度は最も速く、位置は最も低くなる。その後、速度の減速と位置の上昇が同時に起こり、減速による運動エネルギーの減少は位置エネルギーに変換される。立脚中期で身体重心の位置が最上点に到達した後は、ここまでで得られた位置エネルギーによって運動エネルギーが形成されることで力学的エネルギーが保持される。そのため、倒立振子理論では運動エネルギーと位置エネルギーが完全に交換され、定常歩行であればエネルギーを必要としないこととなる。

しかし、歩行運動の実際においては初期接地の衝撃による減速のために、エネルギーが完全に保存されるわけではない。このような接地に伴って生じる減速方向の床反力水平分力は制動力（braking force）と呼ばれる。そして、制動力によって減少したエネルギーを補う加速方向の床反力水平分力を推進力（propulsion force）という。「動歩行原理」においては、歩行運動が形成する倒立振子様の運動を制動力や推進力によって制御することが重要とされる。なかでも推進力の増加は歩行速度に関連する重要な因子であり、trailing limb angle（TLA）としての股関節伸展角度や足関節の底屈モーメントが強く関与することが示唆されている。

本講演では、歩行の力学的背景について、「動歩行原理」の要となる制動力や推進力がイメージできるよう、3次元動作解析装置を用いて取得した実際のデータを示しながら市民向けに解説する。

資料 2**投 稿 規 定**

1. 本誌の目的

本誌は、日本理学療法士協会東北ブロック協議会(以下、東北ブロック協議会)の機関誌として、理学療法及び関連領域における実践報告と研究発表の場を提供することを主な目的とし、研究論文、症例研究、短報、その他を掲載するものです。

2. 投稿者の資格

投稿の筆頭著者は本会（日本理学療法士協会東北ブロック協議会）の会員に限ります。ただし、東北ブロック協議会理事会の決定により、会員外の著者に投稿を依頼することができます。

3. 投稿原稿の条件

他誌へ発表されたもの、または投稿中のものはご遠慮ください。

4. 利益相反

利益相反の可能性のある事項（コンサルタント料、株式所有、寄付金、特許など）がある場合は本文中に記載してください。なお、利益相反に関しては日本理学療法士学会が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守してください。

5. 研究倫理

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行ってください。

6. 原稿の採択

原稿の採否、掲載順は東北ブロック協議会学術局機関誌編集部(以下、編集部)で決定します。査読の結果、編集方針に従って、加筆、削除及び一部書き直しをお願いすることがあります。また、編集部の責任において、字句の訂正をすることがあるのであらかじめご了承ください。

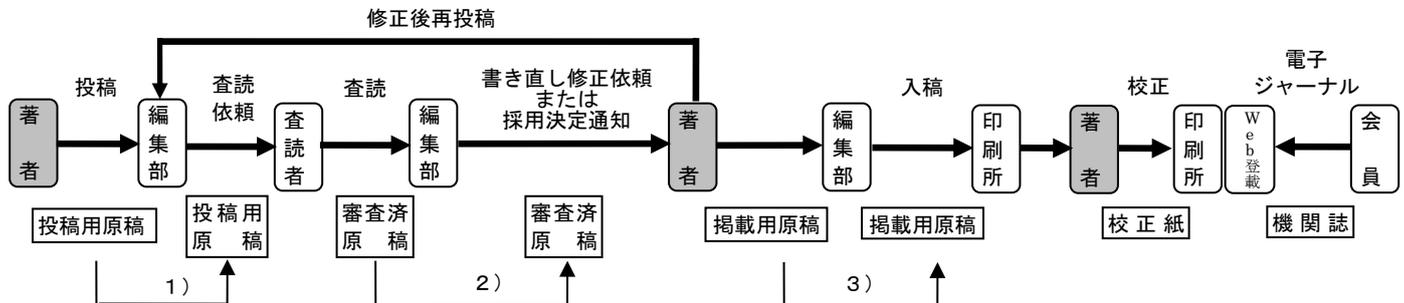
7. 校正

著者校正は原則として1回とします。校正は赤字で行ってください。

学術機関誌 執筆規定

〈投稿様式〉

下図のフローチャートに従って作業が進行します。



1. 投稿用原稿¹⁾について（上図フローチャート参照）

投稿しようとする場合は、以下に示す執筆方法に注意しながら、「投稿用原稿」を作成してください。投稿用原稿送付時には原稿のデータをE-mailで送付してください。E-mailで送付できない場合は、第37号担当者まで問い合わせください。

投稿された論文は日本理学療法士協会東北ブロック協議会（以下、東北ブロック協議会）学術局機関誌編集部（以下、編集部）を通じて2名の査読者に送付され、4週間程度で第1回目の査読が行われます。査読を受けた原稿（審査済原稿）²⁾は、編集部にて採用、一部修正、修正、不採用を決定します。修正が必要な場合は一旦著者に返送され、書き直し修正の依頼が行われます（3週間程度）。その後、第2回目の査読（1週間程度）が行われ、必要場合は著者に再修正の依頼を行います（1週間程度）。第3回目の査読（1週間程度）を経た結果をもとに、編集部にて最終的な採用、不採用を決定します。

2. 掲載用原稿³⁾について（上図フローチャート参照）

採用が決まった著者は、編集部宛に「掲載用原稿」をE-mailで送付してください。

〈執筆方法〉

1. 記事の種類は、研究論文、症例研究、短報、その他の編集区分を表紙の左上に明記してください。

- 1) 研究論文：新規性および独創性があり、明確な結論を示した論文。
- 2) 症例研究：症例の臨床的問題や治療効果についてそれを証明しうる客観的データを提示し、考察を行った論文。
- 3) 短報：研究速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。
- 4) その他：システマティックレビュー、症例報告、実践報告など編集委員会で掲載が適切と判断された論文および記事（なお、症例報告とは報告の新規性・希少性のポイントがどこにあるのかを文献考証を踏まえて提示し、考察を行ったもの。実践報告とは、理学療法研究、教育・臨床等の実践の中で、新たな工夫や介入、結果等について具体的かつ客観的に情報提示し、その内容が有益と判断されたもの）

また編集部から区分変更のお願いをする場合もあります。

2. 原稿を作成する際は文書作成ソフト(Microsoft Word)を使用し、1枚につき20字×20行のフォーマットを用いA4判用紙（原稿用紙を使用する必要はありません）で作成してください。下記の規定の原稿枚数(図・表・写真の換算方法は後述します)を守ってください。

研究論文、症例研究は、図・表・写真、および文献を含んで40枚以内としてください。

短報は、図・表・写真、及び文献を含んで24枚以内としてください。

その他は、32枚以内としてください。

論文タイトル、著者名、職名、所属、和文要旨、キーワード等は本文の字数（総ページ数）に含めないでください。本文余白（上下左右 20～30mm 程度）の下(フッタ)中央に必ずページ番号を振ってください。

3. 原稿中の英数字はすべて半角文字を、片仮名は全角文字を使用してください。
4. 表紙には、最初に和文による論文名・著者名・職名・所属名を記載してください。その次に、英文による論文名・著者名・職名・所属名の順に記載してください。
また、表紙の末尾には、表紙枚数、要旨及び Key words の枚数、本文枚数、図の枚数、表の枚数を記載してください。
5. 和文要旨は、目的、対象、方法、結果、結語を含み、これのみで論文全体の内容がわかるように記述し、400字程度に記載してください。本文とは別に、A4判用紙1枚に作成してください。本文との書式は統一する必要はありません。
6. キーワード
 - 1) 要旨の次に「Key words: 」と見出しをつけて記載してください。
 - 2) キーワードはなるべく和語とし5個以内を厳守してください。各キーワード間はセミコロン（; ）で区切ってください。
(例) Key words: 脳卒中; 歩行; 下肢装具; 下腿三頭筋; 床反力
 - 3) キーワードにはできるだけ略語を用いないようにしてください。
7. 論文の構成
 - 1) はじめに（序論、緒言）
研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性の明示などを記述してください。
 - 2) 対象および方法
用いた研究方法について第三者が追試できるように記述してください。倫理的配慮も記述してください。
 - 3) 結果（成績）
研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述してください。データは、検証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す方が望ましいです。
 - 4) 考察（分析）
結果の分析・評価、今後の課題、などを記述してください。
 - 5) 結論
研究で得られた結論を 200 ～ 300 字で簡潔に記述してください。
 - 6) 利益相反
利益相反の有無について記載してください。
 - 7) 謝辞
著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞に記載してください。

〈図・表について〉

1. 図表の大きさは、原則として以下の3種類とします。
 - 2 段組で書かれた本文中に割り付ける際に、どのサイズを希望するか、欄外に割り付け希望サイズ（1 頁大、1/2 頁大、1/4 頁大）を明記してください。本文とあわせて総ページ数を超えないように注意してください。
 - 1) 1 頁大：文字数換算で 1,600 字程度（400 字詰め原稿用紙 4 枚相当）

刷り上がりで1頁分のスペースを要するサイズ.

- 2) 1/2 頁大: 文字数換算で 800 字程度 (400 字詰め原稿用紙 2 枚相当)

刷り上がりで1頁の上半分のスペースを要するサイズ, または, 横幅が1頁の横半分(左右どちらかの1段分)のスペースを要するサイズ.

- 3) 1/4 頁大: 文字数換算で 400 字程度 (400 字詰め原稿用紙 1 枚相当)

刷り上がりで1/2 頁大のさらに半分のスペースを要するサイズで, 横幅が1頁の左右のどちらか横半分以内のもの.

3. A4 判用紙 1 枚に図表を一つずつ作成してください. また, 症例等の写真を使用する場合, 被写体のプライバシーを考慮し, 「目隠し」が必要な場合は欄外に「要目隠し」と朱書きしてください.
4. 図表には図 1, 図 2, あるいは表 1, 表 2, のようにそれぞれ番号を付けて, 必ず見出し(表題)を付け, 説明文が必要な場合は図表の下に添付してください. 図の見出しは図下に, 表の見出しは表上に付けてください.
5. 原稿(本文)中にはレイアウトせず, 挿入場所がわかるように, 適宜, 文中で触れている説明部分などに, 図 1 や表 1, あるいはカッコで囲んで(図 1) や(表 1) のように記述してください.
6. 図表は, 各々の欄外に記載時の希望のサイズを明記し, 本文とは別にして一括して原稿の末尾に添えてください.
7. 電子ジャーナル化に伴い, カラーでの掲載が可能となりました.

〈文献の記入方法について〉

1. 文献は, 引用文献のみとし, 必要最低限としてください. 本文末尾に一括して引用順に記載し, 原稿の規定枚数内としてください.
2. 本文中においては必ず引用箇所の右肩に, ○○○○¹⁾, ○○○○^{1) - 4)} のように肩番号を付してください.
3. 著者多数の場合には 3 人目以上は省略し, 和文文献の場合は“○○○○, 他”, 欧文文献の場合は“○○○○, *et al.*”と書いてください.
4. 著者・訳者・編者名が英名の場合は「姓, 名(イニシャル).」の形式とします. なお, 訳者, 編者等に関しては氏名の後に訳・編などを付けてください(欧文文献では, 編者が一人の場合は(ed.)二人以上の場合は(eds.)となります).
5. 雑誌名は公式の文献略称を用いてください.
例: 総合リハビリテーション → 総合リハ
リハビリテーション医学 → リハ医学
Physical Therapy → Phys Ther
Archives of Physical Medicine and Rehabilitation → Arch Phys Med Rehabil
Scandinavian Journal of Rehabilitation Medicine → Scand J Rehab Med
6. ペリオド[.], カンマ[,], コロン[:]の付け方に注意してください(下記凡例参照).
7. 通巻頁表示のある雑誌の場合は, ()内の“号数”は特別の場合を除き, できるだけ省略してください.
8. ページ数は当該論文の文頭から文末までとしてください.
9. 文献記載の形式は下記の通りとし, 例にしたがって誤りのないよう注意してください.
特に, 発行地は外国の場合のみ記入し, 発行年は西暦で書いてください.
10. 雑誌の場合は著者氏名: 論文題目. 雑誌名/. 西暦年号; 巻: 頁(最初-最終). の順に, 単行本の場合は著者氏名: 書名. 編集者名, 発行所名, 発行地, 西暦年号, 頁. の順に書いてください. なお, 単行本中の論文の場合は, 書名の前に論文名を書いてください.
11. Web サイト中の記事は, 分かる場合は著者氏名, Web ページの題名. Web サイトの名称. 入手先(URL)を書いてください. また, 末尾に引用日を書いてください.

12. 電子ジャーナルの場合は著者氏名，論文題目，雑誌名，西暦年号，巻，頁（最初～最終）．入手先，引用日．を書いてください．DOI(Digital Object Identifier)がある場合は，頁のあとに書いてください．入手先は欧文文献の場合 Available from: <http://www. . . .>と書いてください．引用日は欧文文献の場合[cited〇〇]と書いてください．

[文献記載凡例]

- 1) 宮本謙三，竹林秀晃，他：加齢による敏捷性機能の変化過程— Ten Step Test を用いて—．理学療法学．2008; 35: 35-41.
- 2) Tompkins J, Bosch PR, *et al.*: Changes in functional walking distance and health-related quality of life after gastric bypass surgery. *Phys Ther.* 2008; 88: 928-935.
- 3) 信原克哉：肩—その機能と臨床—（第3版）．医学書院，東京，2001，156-168.
- 4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, 97-112.
- 5) 名郷直樹: EBM の現状と課題, エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際. 内山 靖(編), 医歯薬出版, 東京, 2008, 18-38.
- 6) 厚生労働省ホームページ 障害者白書平成23年度版 . <http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html> (2011年12月19日引用)
- 7) Aboud S: Quality improvement initiative in nursing homes: the ANA acts in an advisory role. *Am J Nurs.* 2002 Jun [cited 2002 Aug 12]; 102(6): [about 1 p.]. Available from: <http://www.nursingworld.org/AJN/2002/june/Wawatch.htm>Article
- 8) Zhang M, Holman CD, *et al.*: Comorbidity and repeat admission to hospital for adverse drug reactions in older adults: retrospective cohort study. *BMJ.* 2009 Jan 7;338:a2752. doi: 10.1136/bmj.a2752. PubMed PMID:19129307; PubMed Central PMCID: PMC2615549.
- 9) Cancer-Pain.org [Internet]. New York: Association of Cancer Online Resources, Inc.; c2000-01 [updated 2002 May 16; cited 2002 Jul 9]. Available from: <http://www.cancer-pain.org/>.
- 10) American Medical Association [Internet]. Chicago: The Association; c1995-2002 [updated 2001 Aug 23; cited 2002 Aug 12]. AMA Office of Group Practice Liaison; [about 2 screens]. Available from: <http://www.ama-assn.org/ama/pub/category/1736.html>

〈その他の留意事項〉

1. 原稿は，採否に関わらず原則として返却致しません．提出論文のコピーを必ず手元に保存しておいてください．
2. 著者校正は初校のみとし，校正は誤植の訂正だけにとどめてください．校正の途中で，文章や図・表を変更することは認められません．
3. 校正の途中で表題や共著者名等，目次と関わりがある部分を変更することは避けてください．やむを得ず変更する場合は編集部内の各号担当者へお知らせ願います．
4. 本誌に掲載された論文の著作権は，東北ブロック協議会に属することをご了承ください．
5. 所属先におけるリポジトリ登録等にあたり，本誌掲載論文に関わる情報公開が必要な場合，下記に記す学術局機関誌編集部へ問い合わせをお願いします．機関誌編集部にて審議し，東北ブロック協議会理事会における承認後，公開時期について連絡いたします．

〈原稿送付時の注意〉**1. 投稿原稿**

E-mail の件名を「第 37 号投稿用原稿在中」としてください。作成したソフト名、ファイル名を E-mail 本文中に記載してください。編集部でファイルを開くことができないときは、テキスト形式など再度提出をお願いすることがあります。

2. 修正済み原稿

上記の投稿原稿と同様の方法で送付願います。

原稿を修正した場合は、送付された査読者コメント用紙と修正した点や修正しない場合はその理由を箇条書きにした文書を同封してください。この時、2 人の査読者へのコメントを一つにまとめずに、それぞれ分けて文書をご準備ください。

3. 掲載原稿

上記の投稿原稿と同様の方法で送付願います。

〈第 37 号の原稿締め切り日〉

投稿用原稿の締め切りは、令和 6 年 10 月 6 日（日）とします。締め切りを過ぎた原稿は受け付けられませんのでご了承ください。

〈第 37 号の応募先・問い合わせ先〉

第 37 号に関する原稿送付及び原稿作成についての問い合わせは下記宛にお願いいたします。お間違いのないようご注意ください。

〒028-7303 岩手県八幡平市柏台 2-8-2
東八幡平病院 リハビリテーション部 理学療法科
日本理学療法士協会東北ブロック協議会
学術局機関誌編集部 第 37 号担当 及川真人
TEL : 0195-78-2511(代表)
E-mail : kikanshiwate@gmail.com

後援御芳名

青森県

青森市

(公社) 青森県医師会

(一社) 青森市医師会

(一社) 青森県作業療法士会

(一社) 青森県言語聴覚士会

(一社) 青森県介護福祉士会

社会福祉法人青森県社会福祉協議会

(公社) 青森県介護支援専門員協会

(公社) 青森県看護協会

(公社) 青森県社会福祉士会

青森県精神保健福祉士協会

(公社) 青森県栄養士会

(一社) 青森県薬剤師会

(順不同・敬称略)

協賛企業一覧

株式会社 青森日東義肢製作所

株式会社 佐々木義肢製作所

株式会社 インボディ・ジャパン

伊藤超短波株式会社

酒井医療株式会社

オージー技研株式会社

インターリハ株式会社

ミナト医科学株式会社

フィンガルリンク株式会社 仙台オフィス

パシフィックサプライ株式会社

DUPLODEC株式会社

株式会社 シバタ医理科

株式会社 松永製作所

タック株式会社

コセキ株式会社

合同会社ICQ



第43回 東北理学療法学会 in Fukushima

会期: 2025年 9/27(土)・9/28(日)

会場: パルセいいざか 〒960-0201
福島市飯坂町字筑前 27-1
TEL 024-542-2121



次世代の理学療法士へ伝えること
~ 継続すべきことと新たな挑戦のために ~

大会長 高橋仁美
福島県立医科大学

主催: 日本理学療法士協会 東北ブロック協議会
担当: 一般社団法人 福島県理学療法士会



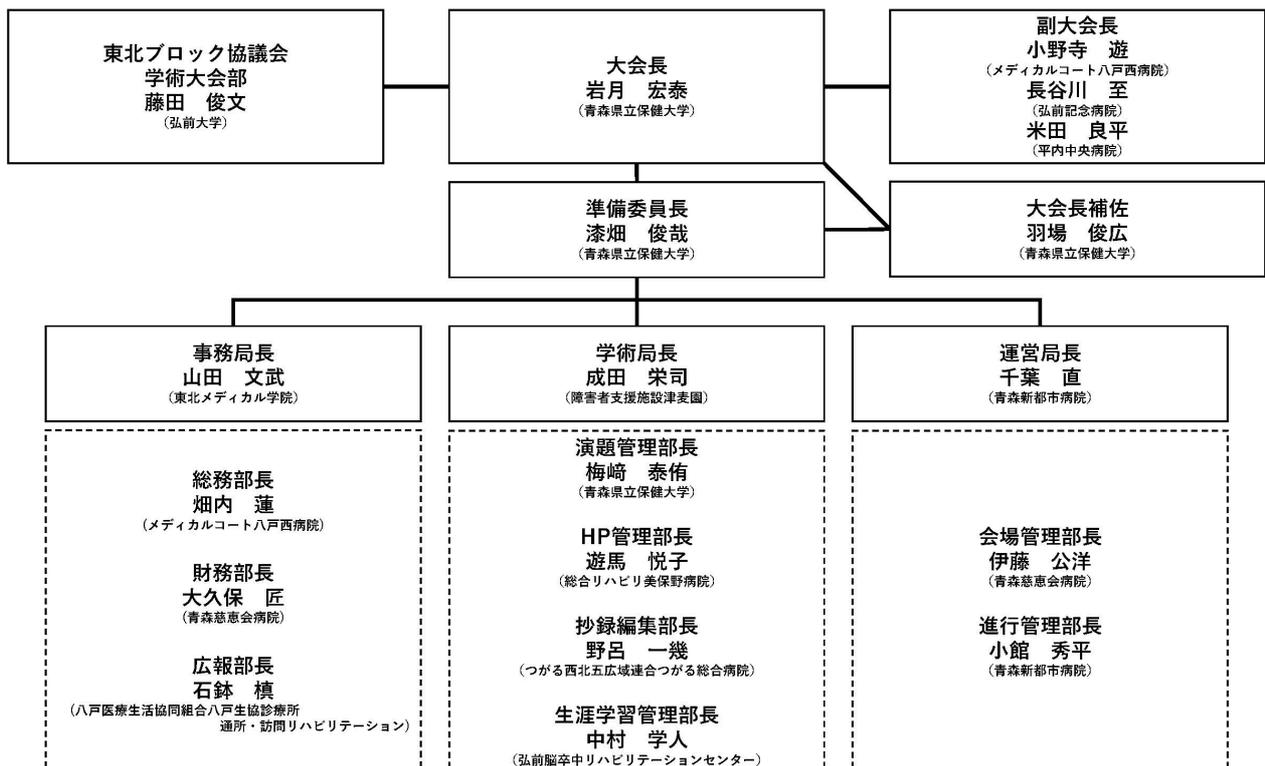
審査員

- 伊藤優也 秋田県立循環器・脳脊髄センター
及川真人 東八幡平病院地域リハビリテーションセンター
尾田敦 弘前大学大学院
川上真吾 仙石病院
川口徹 青森県立保健大学
菊地和人 秋田リハビリテーション学院
木元裕介 秋田リハビリテーション学院
小林武 東北文化学園大学
齋藤真紀子 秋田赤十字病院
佐藤香吏 国民健康保険黒石病院
佐藤友則 東北労災病院治療就労両立センター
柴田和幸 市立秋田総合病院
鈴木栄三郎 山形県立保健医療大学
関公輔 いわてリハビリテーションセンター
中村一葉 いわてリハビリテーションセンター
長谷川至 弘前記念病院
畠山和利 秋田大学大学院
福士勇人 青森県立保健大学
藤田俊文 弘前大学大学院
舟見敬成 総合南東北病院
諸橋勇 青森県立保健大学
横田純一 弘前大学大学院
吉田高幸 東北文化学園大学

(順不同・敬称略)

学術大会運営組織

大会長	岩月 宏泰（青森県立保健大学）
副大会長	小野寺 遊（メディカルコート八戸西病院）
//	長谷川 至（弘前記念病院）
//	米田 良平（平内中央病院）
準備委員長	漆畑 俊哉（青森県立保健大学）
大会長補佐	羽場 俊広（青森県立保健大学）
事務局長	山田 文武（東北メディカル学院）
総務部長	畑内 蓮（メディカルコート八戸西病院）
財務部長	大久保 匠（青森慈恵会病院）
広報部長	石鉢 槇（八戸医療生活協同組合八戸生協診療所通所・訪問リハビリテーション）
学術局長	成田 栄司（障害者支援施設津麦園）
演題管理部長	梅崎 泰侑（青森県立保健大学）
HP管理部長	遊馬 悦子（総合リハビリ美保野病院）
抄録編集部長	野呂 一幾（つがる西北五広域連合つがる総合病院）
生涯学習管理部長	中村 学人（弘前脳卒中リハビリテーションセンター）
運営局長	千葉 直（青森新都市病院）
会場管理部長	伊藤 公洋（青森慈恵会病院）
進行管理部長	小館 秀平（青森新都市病院）
東北ブロック協議会	藤田 俊文（弘前大学）



私たちは皆様のために、
ベストを尽くします。
本当に必要なものに、
ひとつひとつ心を込めて。

義手義足・各種補装具・各種コルセット・車イス・松葉杖・各種ステッキ

一般社団法人 日本義肢協会 登録・東北110号

株式会社 **青森日東義肢製作所**

【住所】〒030-0903 青森県青森市栄町1-7-8

【TEL】017-741-3927 【FAX】017-741-2170

【URL】<http://www.nittogishi.co.jp>

【E-mail】info@nittogishi.co.jp





ESMITH
ES-4201

High power × Compact

求めていたHi-Voltageがついに登場。

Hi-VoltageとHV-EMSの2つのモードを搭載。持ち運びに便利なコンパクトサイズでありながら、最大400Vp-pのハイパワーを実現しました。バッテリー搭載で場所を選ばず治療ができるので、スポーツの現場や往診でもご活用いただけます。

Hi-Voltage モード

鎮痛、疼痛の軽減

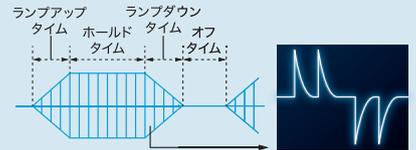
高電圧(最大400Vp-p)の電気刺激が深部組織にアプローチします。新モード「マルチスイッチ」を搭載。



HV-EMS モード

筋萎縮改善
低下した筋力のトレーニング

HV波形を用いたEMSモードでON/OFF時間(ランプアップ、ホールド、ランプダウン、オフタイム)の設定が可能です。



指先で通電して施術ができる「パルスタッチ導子」



指先で通電できるパルスタッチ導子は、Hi-Voltageと手技を組み合わせた新しいアプローチが可能です。手で簡単に出力調整が行えるパルスタッチユニットは治療をさらにスマートにします。

従来の据置型と同様の「ハンディプローブ」を採用



施術中に手元で出力のアップダウンが行え、スイッチ操作でタイマーと出力表示をすぐに確認することができます。さまざまな部位に対応する5種類のハンディ電極を用意しました。

超音波治療器とのコンビネーション治療が可能

超音波治療器(UST-770、US-777)と接続して、Hi-Voltageと超音波を組み合わせ合わせたコンビネーション治療が行えます。



管理医療機器(特定保守管理医療機器)〈クラスII〉 医療機器認証番号 306AABZX00006000
低周波治療器(JMDNコード:35372000) エスミス ES-4201

製造販売元

伊藤超短波株式会社

〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8

メディカル営業部

<https://www.medical.itolator.co.jp/>



営業所

札幌 TEL.011(820)2830 FAX.011(842)1562
仙台 TEL.022(306)7667 FAX.022(306)7688
埼玉 TEL.048(254)1013 FAX.048(254)1014
東京第一 TEL.03(3812)1217 FAX.03(3814)4587
東京第二 TEL.03(3812)4151 FAX.03(3814)4587

名古屋 TEL.052(701)4515 FAX.052(701)6905
大阪 TEL.072(242)1043 FAX.072(242)1040
広島 TEL.082(292)3330 FAX.082(292)3331
福岡 TEL.092(573)6053 FAX.092(573)0218

拡散型ショックウェーブ

インテレクト RPWモバイル

慢性的なその痛み・痙縮に 新しい選択肢があります。

ショックウェーブ療法は欧州を中心に世界各国で活用されている新しい治療アプローチです。



操作に必要なボタンは2つのみ。
シンプル設計で、どなたでも簡単に操作を行うことが可能です。



持ち運び可能な取っ手付き。
従来のカートによる移動は不要です。

販売名：インテレクト RPW モバイル 認証番号：23000BZX00228000

クラス分類：クラスII 管理医療機器 / 特定保守管理医療機器 JMDNコード：34489000



インターリハ株式会社

Inter Reha
Advanced Rehabilitation and Healthcare

〒114-0016 東京都北区上中里 1-37-15
TEL : 03(5974)0231 FAX : 03(5974)0233
http://www.irc-web.co.jp E-mail:irc@irc-web.co.jp
営業所:仙台/東京/名古屋/大阪/九州/フィジオセンター

製品詳細・お問合せ

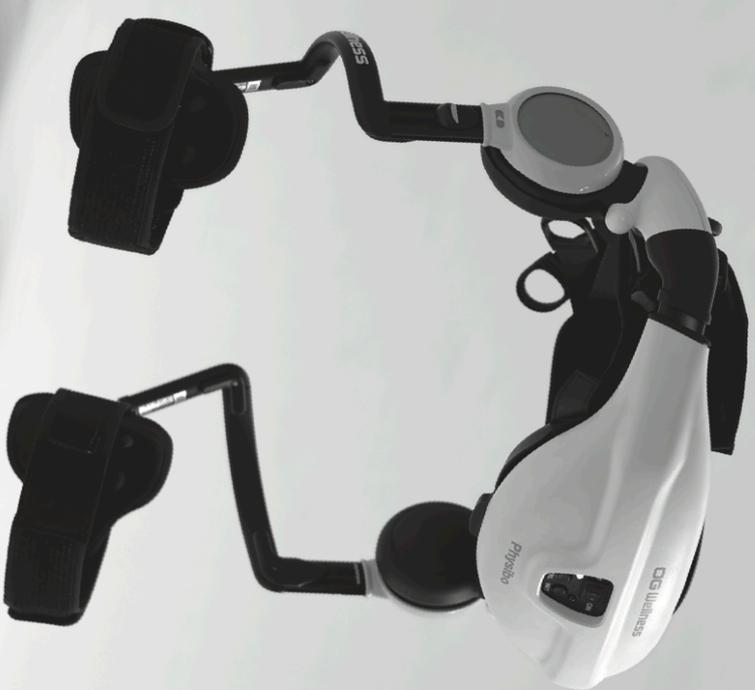


OG Wellness
Wellness and Beyond

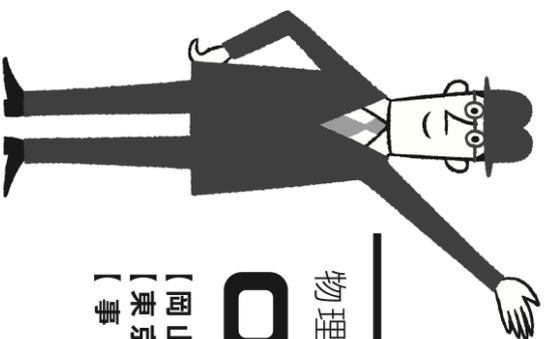
Physisibo Gait

フイジボ ゲイト / GH-3500

ICTとロボット技術により、
一歩先の歩行訓練へ



販売名 / ゲイトトレーナー GH-3500
認証番号 / 231AHBZX00010000
一般的名称 / 能動型展伸・屈伸回転運動装置
クラス分類 / 管理医療機器・特定保守管理医療機器



物理療法機器・リハビリ機器・介護用入浴機器

オーシーウェルネス 検索

OG Wellness オーシー技研株式会社

【岡山本社】〒703-8261 岡山県岡山市中区海吉1835-7
【東京本社】〒100-6004 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング4階
【事業所】
北日本支店・札幌営業所・盛岡営業所・北関東支店・新潟営業所・
南関東支店・横浜営業所・千葉営業所・中部支店・金沢営業所・
関西支店・神戸営業所・中四国支店・広島営業所・高松営業所・
九州支店・鹿児島営業所

【平日受付コールセンター】

☎ 0120-01-7181

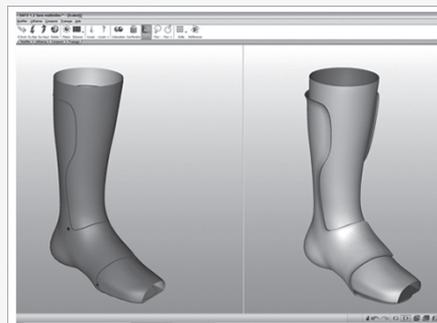
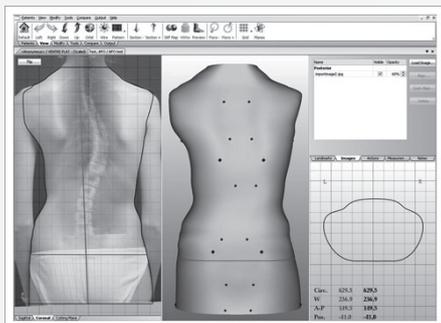
【休日受付コールセンター】

※土・日・祝・年末年始専用
☎ 0120-33-7181

受付時間 9:00～17:00 (平日・休日 共通)

義肢・装具・コルセット・靴・インソール・車椅子・各種つえ・福祉用具

株式会社 佐々木義肢製作所



身体に適合した製品提供のため、いち早く CAD/CAM システムを導入。
コンピューター上にて 3次元形状が容易に表現できるため、設計・加工作業の時間が短縮されます。
各種設定を数値化することで、より正確な製作が可能となります。
また、データを保存することで同形状の製品を再現することもできます。

CHENEAU BRACE

シェノーブレース

従来の側弯症に対する治療方針である「骨に対して左右対称に装具を装着」から「筋肉に対して非対称に装具を装着」することで、矯正と改善が可能に。スキャンデータやレントゲン画像をもとに、専用ソフトウェアと CAD/CAM にて作製します。

素材がプラスチックのため、シンプルかつ軽量で装着しやすいのが最大の特徴です。

もっとくわしく



【仙台本社】 仙台市青葉区木町通2丁目3-3

TEL : 022-274-1181

FAX : 022-274-1183

【秋田支店】

秋田市八橋本町2丁目7-1

TEL : 018-862-7204

FAX : 018-862-9347

【弘前支店】

弘前市桔梗野2丁目16-12

TEL : 0172-33-1150

FAX : 0172-33-1153

ささきぎし



<https://sasaki-gishi.co.jp/>

【営業時間】 月～金 / 8:30 ~ 17:30

【定休日】 土・日・祝日